SONY

4-277-821-**01** (1)

Digital Signage Player

VSP-BZ10

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この設置説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニーの製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この設置説明書の注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

５年に１度は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に点検をご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



❶ **電源を切る。**
❷ **電源コードや接続コードを抜く。**
❸ **お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。**

警告表示の意味

設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号







行為を指示する記号









下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

表示された電源電圧で使用する



製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。
日本国内では 100 V でお使いください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置·使用しない



上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となります。

付属の電源コードや AC アダプター以外は使用しない



火災や感電の原因となります。AC アダプター本体の形状が同じものもありますので、ご注意ください。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む



真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

内部を開けない



内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

電源コードや AC アダプターを傷つけない



電源コードや AC アダプターを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードや AC アダプターを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードや AC アダプターを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードや AC アダプターが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

JP

ぬれた手で電源プラグや AC アダプターをさわらない


ぬれ手禁止

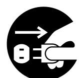
ぬれた手で電源プラグやACアダプターを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る


指示

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く


プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動の際は電源コードや接続コードを抜く


指示

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷が付いて火災や感電の原因となることがあります。

分解や改造をしない


分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。

不安定な場所に設置しない


禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置･取り付け場所の強度を充分にお確かめください。
本機を縦置きするときは、付属の縦置きスタンドを使用してください。付属の縦置きスタンドを使用しないと、本機が倒れてけがをすることがあります。

通気孔をふさがない


禁止

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

コード類は正しく配置する


指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
充分注意して接続･配置してください。

製品の上に乗らない、重いものを乗せない



倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

その他安全上のご注意

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。

ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

使用上のご注意

・本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
・安全のため、該当ポートに過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。
・本機はFAT32ファイルシステムでフォーマットされた、SDHCメモリーカードのみ使用できます。
・ACCESSインジケーターが緑色に点滅または点灯中は、データの読み込み中、書き込み中です。データの読み込み中、書き込み中にUSBメモリーを取り出した場合、データが破損したりUSB メモリーそのものが使用できなくなったりすることがあります。
・SDHCメモリーカードを抜き差しする場合は、電源コードを抜いた状態で行ってください。

メモリーに保存されるデータに関する注意

・本製品内のメモリーには、各種機能の設定値に加え、IPアドレス、メールアドレス等が記録されます。本製品を廃棄、譲渡等する場合には、本製品内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去の方法につきましては取扱説明書の「サイネージウェブマネージャーを使う」（本機に付属のCD-ROM（Software & Manuals for Digital Signage Player）にPDF形式で収録）にある「本機を初期化する」の説明をご覧ください。
・本製品の不具合・修理等何らかの原因で、本製品内のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

外部記録メディア使用上の注意

何らかの原因で外部メディアにコンテンツを記録できなかった場合や、外部メディアに記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

・SDロゴは商標です。
・SDHCロゴは商標です。
・その他記載された商品名、会社名などは、各社の商標または登録商標です。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、本機を使用するための準備について説明しています。本機を使用するための詳細な操作方法は、下記マニュアルをご覧ください。

- 取扱説明書（PDF 形式）
  本機の操作方法について説明しています。本機に付属の CD-ROM（Software & Manuals for Digital Signage Player）に PDF 形式で収録されています。CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入してください。

CD-ROM マニュアルの使いかた

本機には CD-ROM が 1 枚付属しています。
ラベル表示「Software & Manuals for Digital Signage Player」の CD-ROM には、本機の取扱説明書やユーザーガイド（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語）などが PDF 形式で記録されています。

準備

CD-ROM に収納されている取扱説明書やユーザーガイドをご覧いただくためには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。
- Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記 URL よりダウンロードできます。
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

Adobe、および Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

マニュアルを読むには

次のようにします。

1 **CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。**

2 **エクスプローラーで CD-ROM 内の Manual フォルダーを開く。**

3 **読みたいマニュアルを選択してクリックする。**

PDF ファイルが開きます。

メモ

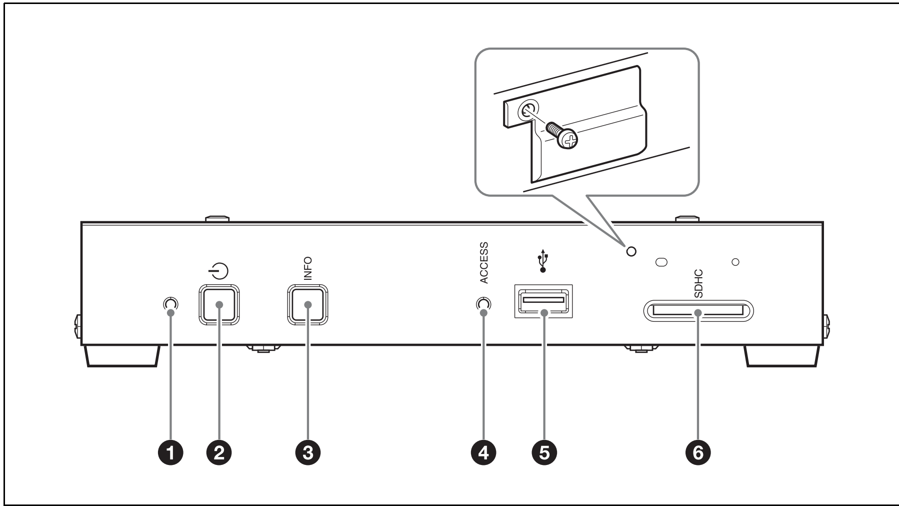
Adobe Reader のバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は、「準備」の項の URL より最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

ご注意

CD-ROM が破損または紛失したため、新しい CD-ROM をご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

各部の名称と働き

前面



❶ スタンバイインジケーター

本機の状態に応じて次の色で点灯または点滅します。

状態	意味
オレンジ色に点灯	電源投入時
赤色に点滅	電源投入後、スタンバイへ移行中
赤色に点灯	スタンバイ状態
緑色に点滅	プレーヤー動作準備中、またはプレーヤー動作状態からスタンバイへ移行中
緑色に点灯	プレーヤー動作中

❷ ⏻（スタンバイ）ボタン

ボタンを 3 秒以上押すと、本機がスタンバイ状態になります。再度ボタンを押すと、本機が起動します。

❸ INFO ボタン

ファームウェアバージョン、IP アドレス、現在の時刻、シリアル番号をディスプレイに表示します。
INFO ボタンは、スタンバイインジケーターが緑色に点灯しているときに押してください。

❹ ACCESS インジケーター

USB メモリーへのアクセス中に緑色に点灯します。

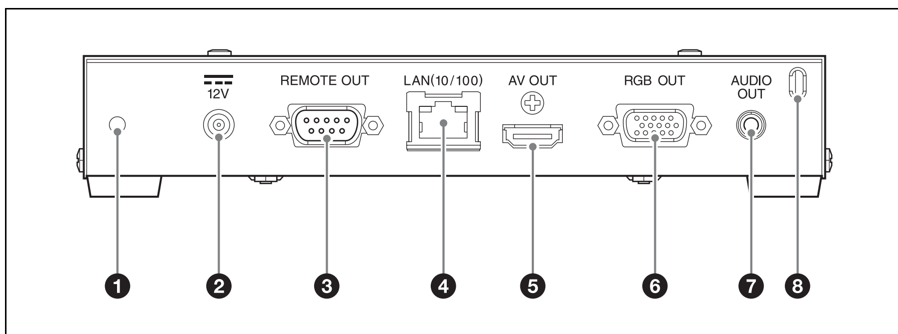
❺ (USB)端子

サイネージプレーヤーマネジメントソフトウェアでUSBメモリーを使用した配信を行う場合に、USBメモリーを挿入します。

❻ SDHCメモリーカードスロット

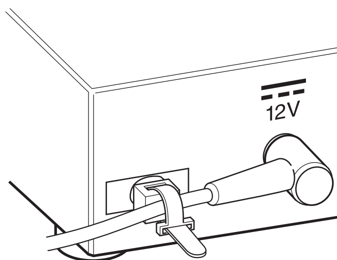
SDHCメモリーカードを挿入します。
SDHCメモリーカードを挿入する前に、必ず「使用上のご注意」(6ページ)をご覧ください。
なお、本書では「メモリーカードスロット」と表記しています。

背面



❶ ケーブルタイホルダー取り付け穴

電源コードやHDMIケーブルを本機に固定する場合に、ケーブルタイホルダーを取り付けます。ケーブルタイホルダーに市販のケーブルタイなどを図のように取り付けて固定してください。
ケーブルタイは、厚さ1.9 mm以下、幅3.8 mm以下のものを用意してください。



❷ 12V端子

電源コードを接続します。

❸ REMOTE OUT端子

RS-232CケーブルでRS-232C端子付きのディスプレイに接続します。

❹ LAN(10/100)(ネットワーク)端子(10BASE-T/100BASE-TX)

本機を10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルでネットワークに接続します。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。接

続については本書の指示に従ってください。

❺ AV OUT 端子

HDMI ケーブルでディスプレイに接続します。

❻ RGB OUT（アナログ）端子

RGB ケーブルでディスプレイに接続します。

❼ AUDIO OUT 端子

ステレオミニプラグケーブルでオーディオ機器に接続します。

❽ 盗難防止キー取り付け穴

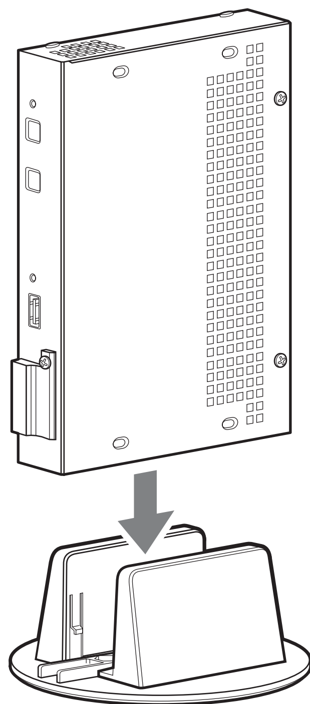
市販の盗難防止キーを取り付けることができます。
盗難防止キーの使い方については、ご使用になる盗難防止キーに付属の説明書をご覧ください。

縦置きで設置する

本機を縦置きで設置する場合は、必ず付属の縦置きスタンドを使用し、図のように確実に取り付けてください。

スタンドへ取り付ける

カチッと音がするまで差し込みます。



スタンドから取りはずす

スタンドを押さえて、本機を上へ持ち上げます。

本機を接続する

接続する前に

ご注意

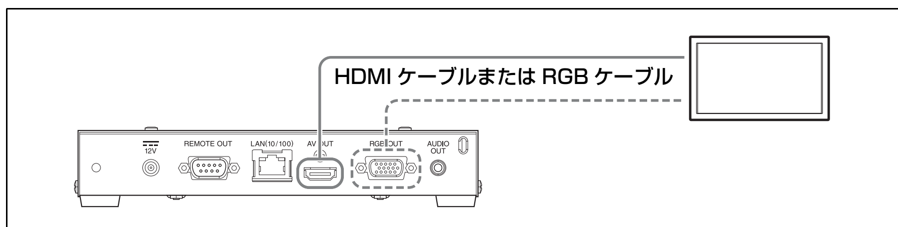
ネットワーク運用時にはIPアドレスが2つ必要です。
出荷時には、IP Address 1、2をDHCPで取得するように設定されています。

DHCP設定やIPアドレスを変更後、出荷時の状態に戻したい場合は、いったん電源コードを抜いた後、INFOボタンを押しながら電源コードを接続して本機を初期化してください。
IP Address 1、2は、サイネージウェブマネージャーで設定できます。詳細は本機に付属のCD-ROM（Software & Manuals for Digital Signage Player）に収録されている取扱説明書（PDF形式）をご確認ください。
設定したIP Address 1、2を、本書裏表紙のセットアップメモにお控えください。
IP Address 1、2は、他のデバイスと重複しないIPアドレスをご用意ください。

以下の手順に従って、本機をディスプレイとコンピューターに接続します。

ネットワークを使用しない場合

本機とディスプレイを HDMI ケーブルまたは RGB ケーブルで接続します。

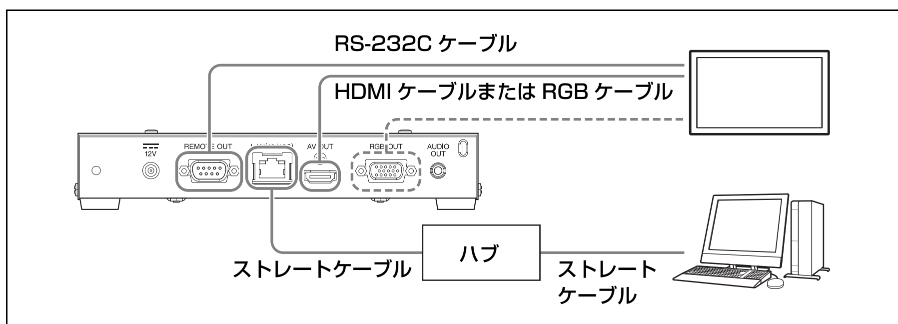


ネットワークを使用する場合

1 本機とコンピューターをネットワークに接続する。

2 本機とディスプレイをHDMIケーブルまたはRGBケーブルで接続する。

3 機器制御を行う場合は、HDMI ケーブルまたは RGB ケーブルに加えて、RS-232C ケーブルで本機とディスプレイまたはディスプレイ周辺機器を接続する。

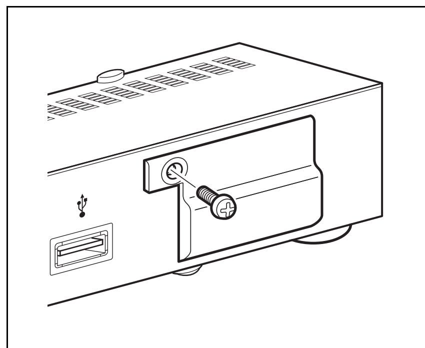


メモリーを準備する

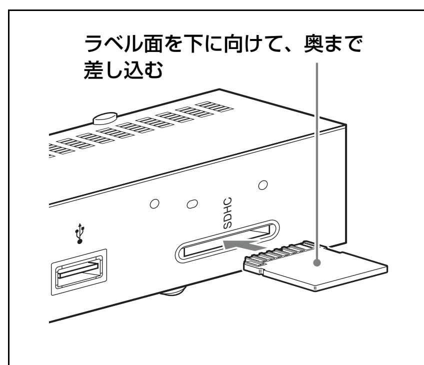
本機を使用するためには、SDHC メモリーカードが必要になります。また、必要に応じて、USB メモリーが使用できます。
動作確認済みメディア（SDHC メモリーカード、USB メモリー）については、付属の動作確認済みメディアリストまたは CD-ROM（Software & Manuals for Digital Signage Player）にある動作確認済みメディアリスト（Media_List.pdf）をご覧ください。

SDHC メモリーカードを挿入する

1 スロットカバー固定ネジをプラスドライバーではずし、スロットカバーを開ける。



2 SDHCメモリーカードをメモリーカードスロットに差し込む。



ご注意

SDHC メモリーカードの向きを間違えないようにしてください。図の向きが正しい向きです。

3 スロットカバー固定ネジをプラスドライバーで元どおり取り付けて、スロットカバーを固定する。

本機の動作を確認する

SDHCメモリーカードを使用して、本機の動作を確認します。

1 コンテンツが入ったSDHCメモリーカードを本機に挿入する。

2 本機およびディスプレイの電源を入れる。

SDHCメモリーカードに保存されているコンテンツの再生が自動的に開始されます。

対応メディア・ファイル形式

メディア	SDHCメモリーカード（Class 10）、USBメモリー
ファイル形式	JPEG形式、H.264形式、MPEG2形式など
最大解像度*	JPEG形式： 1920 × 1080 PNG形式： 1920 × 1080 BMP形式： 1920 × 1080 H.264形式： 1920 × 1080 MPEG2-TS形式： 1920 × 1080 MPEG2-PS形式： 720 × 576
最小解像度	PNG形式のみ 320 × 240 それ以外は 640 × 480

＊解像度が高くなるほど、表示に時間がかかります。

詳しくは、本機に付属のCD-ROM（Software & Manuals for Digital Signage Player）に収録されている取扱説明書（PDF形式）をご覧ください。

SDHC メモリーカードを抜く

1 スロットカバー固定ネジをプラスドライバーではずす。

2 SDHCメモリーカードを押してから、手前に引き抜く。

3 スロットカバー固定ネジをプラスドライバーで元どおり取り付けて、スロットカバーを固定する。

ご注意

SDHC メモリーカードをはずす前に、必ず「使用上のご注意」（6 ページ）をご覧ください。

仕様

入／出力

Network	10BASE-T/100BASE-TX（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。）
メモリーカードスロット	SDHC
USB	Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）

その他

外形寸法	200 × 33 × 139 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）
質量	約 800 g
消費電力	約 14 W
動作温度	0 ℃～ 40 ℃
保存温度	−20 ℃～ +55 ℃
LAN インジケーター	Link （緑）/ Act （オレンジ）
ケーブル長	100 m 以内（カテゴリー 5e）
付属品	設置説明書（本書） スタートアップガイド 動作確認済みメディアリスト ケーブルタイホルダー 縦置きスタンド CD-ROM（Software & Manuals for Digital Signage Player） AC アダプター

推奨電源コード

部品番号 1-834-600-1X

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は端末機器技術基準適合品です。

機種名	認証番号
VSP-BZ10	D11-0015005

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade (NEMA 1-15P Configuration)
Cord	Type NISPT-2 or SPT-2, two 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m (4 ft .11in.), Less than 2.5 m (8 ft .3 in.)
Rating	Minimum 7A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.
1. Use the approved Power Cord (2-core mains lead) / Appliance Connector / Plug that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (2-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

Do not install the appliance in a confined space, such as book case or built-in cabinet.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe

This product with the CE marking complies with the EMC Directive issued by the Commission of the European Community. Compliance with this directive implies conformity to the following European standards:

- EN55103-1: Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2: Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environments: E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors), E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

Precautions

- The specifications of this player are subject to change for improvements without notice.
- For safety, connect the port of this player only to a network where there is no danger of excessive voltage or voltage surges.
- This player supports only SDHC Memory Cards that are formatted with FAT32 file systems.
- When the ACCESS indicator is lit or flashing green, the player is reading or writing data. Ejecting a USB flash drive while it is being accessed may result in damage to data or damage to the USB flash drive.
- When you remove or insert an SDHC Memory Card, make sure that the power cord is disconnected.

Notes on data stored to memory

- In addition to various function settings, IP and e-mail addresses are stored on the player's memory. Erasing the data stored on the player's memory is strongly recommended when disposing of or transferring ownership of the VSP-BZ10. For details on how to erase the data, refer to "Returning to Default Settings" in the "Using the Signage Web Manager" section in the Operating Instructions (on the supplied CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) in PDF format).
- Be aware that Sony shall not be liable or provide compensation for any loss or damage of data stored on the player's memory due to defects, as a result of repair, or any other reason. Also be aware that Sony cannot restore any lost or damaged data.

Note on external storage media

Be aware that Sony bears no responsibility for the inability to store data on an external storage medium or for the loss or damage of any stored data, for any reason, and shall not be liable or provide compensation for any damage to data incidental or otherwise.

- The SD logo is a trademark.
- The SDHC logo is a trademark.
- All other product names, company names, etc. mentioned in this manual are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

About This Manual

This manual describes how to prepare the VSP-BZ10 player.
Refer to the following manuals for more information on how to use the player.

- **Operating Instructions (PDF format)**
  Describes how to operate this player. The document is included as a PDF file on the CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) supplied with the VSP-BZ10. Insert the CD-ROM into the CD-ROM drive of the computer.

Using the CD-ROM Manuals

This unit is supplied with a CD-ROM disc. The CD-ROM labeled, "Software & Manuals for Digital Signage Player, " includes operating instructions and user guides for this player (English, Japanese, French, German, Italian, and Spanish versions) in PDF format.

Preparation

The following program must be installed on your computer in order to read the operating instructions and user guides on the CD-ROM.

- Adobe Reader 6.0 or later

Memo

If Adobe Reader is not installed, it may be downloaded from the following URL:
http://www.adobe.com

Adobe and Adobe Reader are trademarks of Adobe Systems Incorporated.

To read the Manuals

Proceed as follows to view manuals.

1. Insert the CD-ROM disc in your CD-ROM drive.
2. Open the Manual folder on the CD-ROM using Windows Explorer.
3. Click the manual you want to read.
   The PDF file opens.

Memo

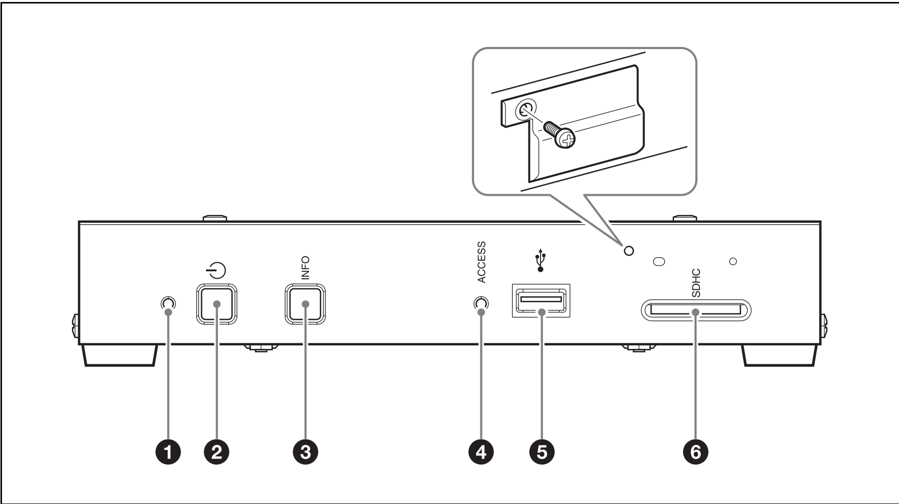
The files may not be displayed properly, depending on the version of Adobe Reader. In such cases, install the latest version you can download from the URL mentioned in "Preparation" above.

Note

If your CD-ROM disc is damaged or lost, you can contact your nearest Sony dealer to purchase a new disc.

Names and Functions of Parts and Controls

Front



❶ Standby indicator

This indicator lights or flashes in the following colors in accordance with the state of the player.

Indicator state	Meaning
Lit orange	Powering on
Flashing red	Entering the standby state after powering on
Lit red	Currently in the standby state
Flashing green	Readying player operation, or entering the standby state from an operating state
Lit green	Player is operating

❷ ⏻ (standby) button

Hold this button for at least three seconds to set the player to the standby state. Press the button again to start the player.

❸ INFO button

Displays the firmware version, IP address, current time, and serial number on the display.
Press the INFO button when the standby indicator is lit green.

❹ ACCESS indicator

This indicator lights green when the USB flash drive is being accessed.

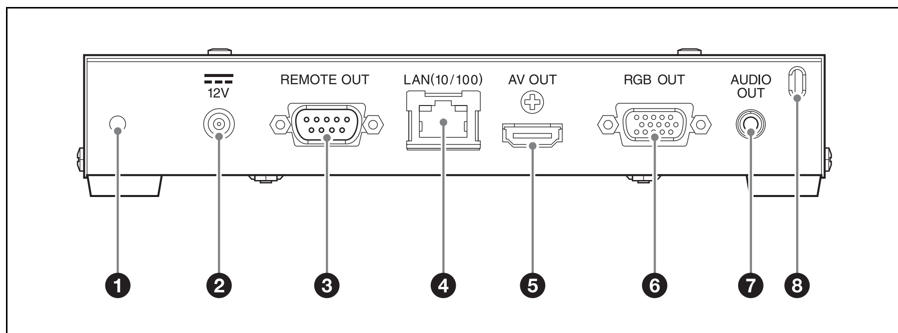
❺ (USB) port

When sending data from a USB flash drive using the Signage Player Management Software, insert the USB flash drive here.

❻ SDHC Memory Card slot

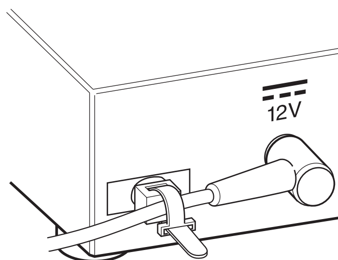
Accepts SDHC Memory Cards.
Before inserting an SDHC Memory Card, make sure to see “Precautions” on page 20.
This is referred to as the “memory card slot” in this document.

Rear



❶ Cable tie holder attachment hole

Attach the cable tie holder here when you want to secure the power cord, HDMI cable, and other cables to the player. Attach a commercially available cable tie as illustrated, and secure it to the cable tie holder.
Use a cable tie that is 1.9 mm or less in thickness, and 3.8 mm or less in width.



❷ 12V connector

Connects to a power cord.

❸ REMOTE OUT connector

Connects to a display with RS-232C interface via an RS-232C cable.

❹ LAN (10/100) (network) connector (10BASE-T/100BASE-TX)

Connects the player to a network via a 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable.

CAUTION

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port. Follow the instructions for this port.

❺ AV OUT connector

Connects to a display via an HDMI cable.

❻ RGB OUT (analog) connector

Connects to a display via an RGB cable.

❼ AUDIO OUT connector

Connects to audio equipment via a stereo mini plug cable.

❽ Security slot

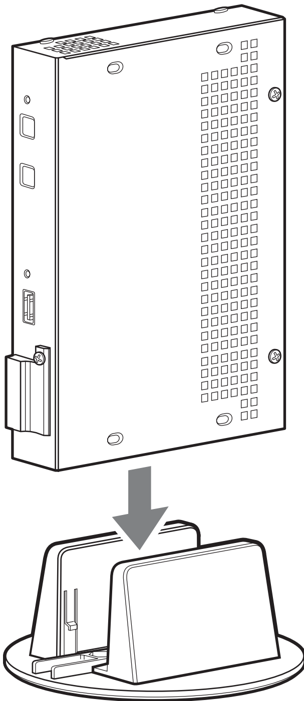
Attach a commercially available security cable here.
For details on how to use security cable, refer to the operating instructions supplied with the security cable.

Placing the Player Vertically

When placing the player in a vertical position, always use the supplied vertical stand and secure the player to the stand as illustrated.

Attaching the stand

Insert the player into the stand until it clicks into place.



Removing the stand

Hold down the stand, and lift out the player.

Connecting the Player

Before connection

Note

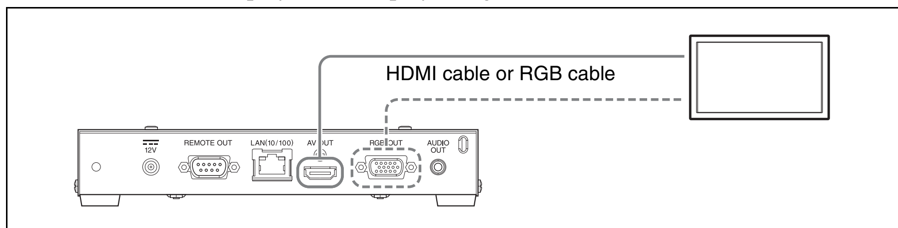
Two IP addresses are required when performing network operations.
Under factory default settings, IP addresses 1 and 2 are set to be automatically assigned by DHCP.

If you want to restore the default conditions after changing the DHCP and IP address settings, first disconnect the power cord, then reconnect it while holding down the INFO button to reset the player settings.
IP Address 1 and 2 can be set in Signage Web Manager. For details, check the Operating Instructions (PDF format) stored on the CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) supplied with the player.
Write down IP Address 1 and 2 in "Setup Memo" on the back cover of this manual.
For IP Address 1 and 2, set unique addresses that do not overlap with those of other devices.

Conect the player to a display and a computer as follows.

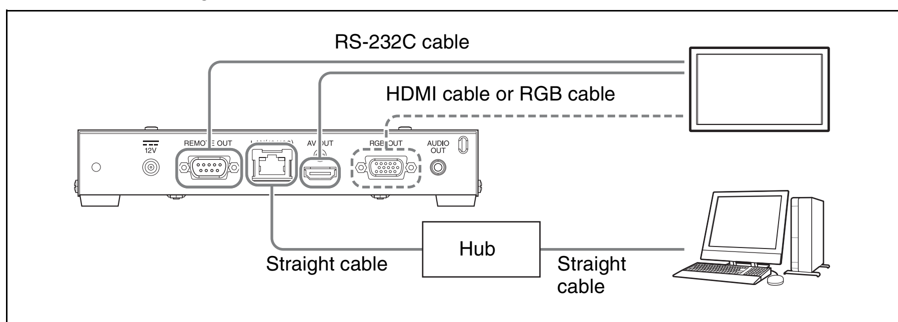
For operation outside of a network

Connect the player to a display using an HDMI cable or RGB cable.



For operation within a network

1. Connect the player and computer to a network.
2. Connect the player to a display using an HDMI cable or RGB cable.
3. To control the device, connect the player to the display or peripheral device using an RS-232C cable, in addition to the HDMI cable or RGB cable.

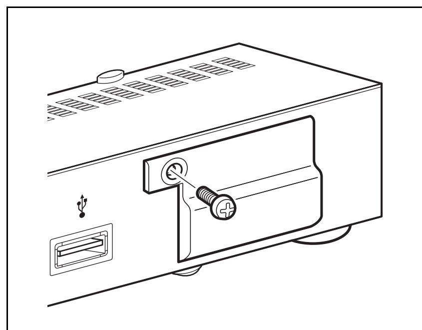


Preparing the Memory

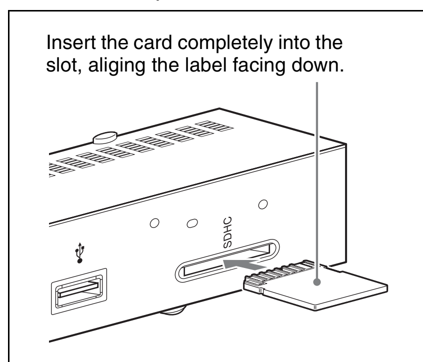
An SDHC Memory Card is required to use this player. If necessary, you can also use USB flash drives.
For information on supported media (SDHC Memory Cards and USB flash drives), refer to the supplied Media List document or the Media List file (Media_List.pdf) on the CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player).

Inserting an SDHC Memory Card

1 Remove the slot cover fastening screw with a Phillips screwdriver, and open the slot cover.



2 Insert the SDHC Memory Card into the memory card slot.



Note

Take care to insert the SDHC Memory Card with correct orientation, as shown in the illustration.

3 Replace the slot cover and tighten the fastening screw with a Phillips screwdriver.

Confirming Operation

Use an SDHC Memory Card to confirm that the player is operating.

1 Insert an SDHC Memory Card that holds content into the player.

2 Turn on the player and display.
Playout of the content stored on the SDHC Memory Card will then start automatically.

Compatible Media and File Formats

Media SDHC Memory Cards (Class 10), USB flash drive
File format JPEG format, H.264 format, MPEG2 format, etc.
Maximum resolution*
JPEG format: 1920 × 1080
PNG format: 1920 × 1080
BMP format: 1920 × 1080
H.264 format: 1920 × 1080
MPEG2-TS format:
1920 × 1080
MPEG2-PS format:
720 × 576
Minimum resolution
320 × 240
(PNG format only)
640 × 480 (all others)

* The higher the resolution, the longer images take to display.

For details, refer to the Operating Instructions included as a PDF file on the CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) supplied with the VSP-BZ10.

Removing an SDHC Memory Card

1 Remove the slot cover fastening screw with a Philips screwdriver.

2 Press in the SDHC Memory Card, and remove the card.

3 Replace the slot cover and tighten the fastening screw with a Philips screwdriver.

Note

Before removing an SDHC Memory Card, make sure to see “Precautions” on page 20.

Specifications

Input/output

Network — 10BASE-T/100BASE-TX (connection speeds may differ, depending on the network environment)

Memory card slot — SDHC

USB — Hi-Speed USB (USB 2.0 compliant)

General

Dimensions — 200 × 33 × 139 mm (7 7/8 × 1 5/16 × 5 1/2 in.) (W/H/D) (excluding protrusions)

Mass — Approx. 800 g (28 oz.)

Power consumption — Approx. 14 W

Inrush current — (1) Maximum possible inrush current at initial switch-on (Voltage changes caused by manual switching): 48.5 A peak, 6.5 A r.m.s. (240V AC)
(2) Inrush current after a mains interruption of five seconds (Voltage changes caused at zero-crossing): 7.5 A peak, 2.5 A r.m.s. (240V AC)

Operating temperature — 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)

Storage temperature — –20 °C to +55 °C (–4 °F to +131 °F)

LAN indicators — Link (green)/Act (orange)

Cable length — Max. 100 m (328 ft.) (Category 5e)

Supplied items
- Installation Manual (this manual)
- Startup Guide
- Media List
- Cable tie holder
- Vertical stand
- CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player)
- AC adapter

Recommended power cord

For USA and CANADA only
Part No. 1-757-562-1X

For Europe only
Part No. 1-575-131-8X

For Oceania only
Part No. 1-555-074-5X

Design and specifications are subject to change without notice.

Notes
- Always make a test recording, and verify that it was recorded successfully.
SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF FAILURE OF THIS UNIT OR ITS RECORDING MEDIA, EXTERNAL STORAGE SYSTEMS OR ANY OTHER MEDIA OR STORAGE SYSTEMS TO RECORD CONTENT OF ANY TYPE.
- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 2 fils)/fiche femelle/fiche mâle conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 2 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Ne pas installer l'appareil dans un endroit confiné, par exemple une bibliothèque ou un placard encastré.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients en Europe

Ce produit portant la marque CE est conforme à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) émise par la Commission de la Communauté européenne.

La conformité à cette directive implique la conformité aux normes européennes suivantes :
- EN55103-1 : Interférences électromagnétiques (émission)
- EN55103-2 : Sensibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est prévu pour être utilisé dans les environnements électromagnétiques suivants : E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urbain extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé, ex. studio de télévision).

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Précautions

- Les caractéristiques techniques de ce lecteur sont susceptibles d'être modifiées en vue d'être améliorées à tout moment et sans préavis.
- Pour votre sécurité, raccordez le port de ce lecteur uniquement à un réseau qui ne présente aucun risque de tension excessive ou de surtension.
- Ce lecteur ne prend en charge que les cartes mémoire SDHC qui sont formatées avec les systèmes de fichiers FAT32.
- Lorsque le témoin ACCESS est allumé ou clignote en vert, le lecteur est en cours de lecture ou d'écriture de données. Si vous tentez d'éjecter ou un périphérique USB à mémoire flash en cours d'accès, les données, le périphérique USB à mémoire flash pourraient être endommagés.
- Lorsque vous retirez ou insérez une carte mémoire SDHC, assurez-vous que le cordon d'alimentation est débranché.

Remarques sur les données stockées dans la mémoire

- En plus des nombreux réglages de fonctions, les adresses IP et adresses électroniques sont stockées dans la mémoire du lecteur. Nous vous recommandons fortement d'effacer les données stockées dans la mémoire du lecteur lorsque vous mettez le VSP-BZ10 au rebut ou que vous le cédez à un tiers. Pour en savoir plus sur la manière dont vous pouvez effacer les données, reportez-vous au chapitre « Retour aux réglages par défaut » dans la section « Utilisation du Signage Web Manager » du mode d'emploi (qui se trouve sur le CD-ROM fourni (Software & Manuals for Digital Signage Player) au format PDF).
- Sachez que Sony ne sera pas tenu responsable et ne fournira aucune compensation en cas de perte ou de dommages causés aux données stockées dans la mémoire du lecteur pouvant résulter d'un défaut du produit, de sa réparation ou de tout autre facteur. Sachez également que Sony ne peut pas restaurer des données perdues ou endommagées.

Remarques sur les supports de stockage externes

Sachez que Sony n'est pas responsable de l'impossibilité de stocker des données sur un support de stockage externe ni de la perte ou des dommages causés aux données stockées, pour quelque raison que ce soit, et ne sera pas non plus tenu responsable et ne fournira aucune compensation en cas de dommage, accidentel ou autre, causé aux données.

- Le logo SD est une marque commerciale.
- Le logo SDHC est une marque commerciale.
- Tous les autres noms de produits, d'entreprises, etc. mentionnés dans ce manuel sont des marques commerciales ou des marques déposées de leurs détenteurs respectifs.

À propos de ce manuel

Ce manuel explique comment préparer le lecteur VSP-BZ10.
Pour en savoir plus sur l'utilisation du lecteur, reportez-vous aux manuels suivants.

- **Mode d'emploi (format PDF)**
  Décrit le fonctionnement de ce lecteur. Ce document se trouve sous forme de fichier PDF sur le CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) fourni avec le VSP-BZ10. Insérez le CD-ROM dans le lecteur de CD-ROM de l'ordinateur.

Utilisation du manuel CD-ROM

L'appareil est fourni avec un disque CD-ROM.
Le CD-ROM nommé « Software & Manuals for Digital Signage Player » inclut le mode d'emploi et les guides d'utilisation de ce lecteur (versions en anglais, japonais, français, allemand, italien et espagnol) au format PDF.

Préparation

Le programme suivant doit être installé sur votre ordinateur pour lire le mode d'emploi et les guides d'utilisateur contenus sur le CD-ROM.

- Adobe Reader Version 6.0 ou supérieure

Note

Si Adobe Reader n'est pas installé, il peut être téléchargé à l'adresse Web suivante :
http://www.adobe.com

Adobe et Adobe Reader sont des marques de Adobe Systems Incorporated.

Lecture du manuel CD-ROM

Procédez comme suit pour afficher les manuels.

1. Introduisez le CD-ROM dans votre lecteur de CD-ROM.
2. Ouvrez le dossier Manual contenu sur le CD-ROM en utilisant Windows Explorer.
3. Cliquez sur le manuel que vous souhaitez lire.
   Le fichier PDF s'ouvre.

Note

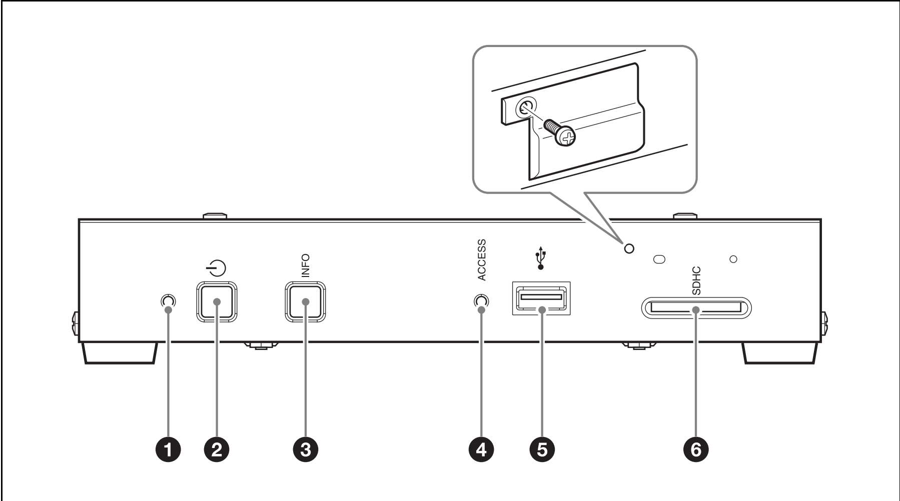
Selon la version d'Adobe Reader, les fichiers risquent de ne pas s'afficher correctement. Dans ce cas, installez la dernière version que vous pouvez télécharger à l'adresse Web indiquée à la section « Préparation » ci-dessus.

Remarque

Si votre disque CD-ROM est endommagé ou perdu, vous pouvez contacter votre revendeur Sony le plus proche pour acheter un nouveau disque.

Noms et fonctions des pièces et des commandes

Avant



❶ Témoin de veille

Ce témoin s'allume ou clignote dans les couleurs suivantes selon l'état du lecteur.

État du témoin	Signification
Allumé en orange	Mise sous tension
Clignote en rouge	Passage en état de veille après la mise sous tension
Allumé en rouge	Actuellement en état de veille
Clignote en vert	Préparation du fonctionnement du lecteur ou passage en état de veille à partir d'un état de fonctionnement
Allumé en vert	Lecteur en cours de fonctionnement

❷ Bouton ⏻ (veille)

Maintenez ce bouton enfoncé pendant au moins trois secondes pour mettre le lecteur en état de veille. Appuyez une nouvelle fois sur ce bouton pour démarrer le lecteur.

❸ Bouton INFO

Affiche la version du micrologiciel, l'adresse IP, l'heure actuelle et le numéro de série sur l'écran d'affichage.
Appuyez sur le bouton INFO lorsque le témoin de veille est allumé en vert.

❹ Témoin ACCESS

Ce témoin s'allume en vert lorsque l'accès au périphérique USB à mémoire flash est en cours.

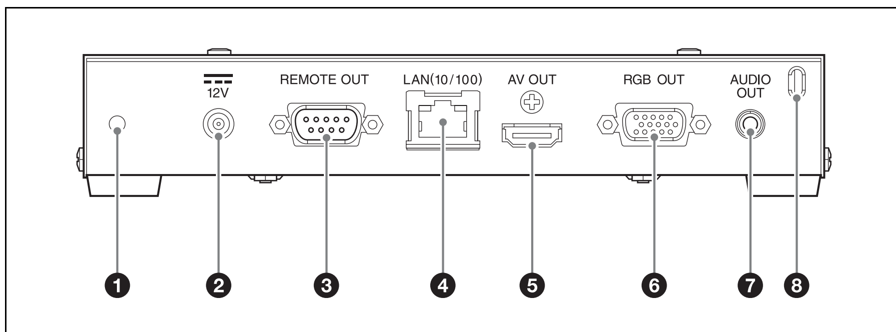
❺ Port ⭍ (USB)

Lors de l'envoi de données à partir d'un périphérique USB à mémoire flash à l'aide du logiciel de gestion du lecteur pour affichage dynamique, insérez ici le périphérique USB à mémoire flash.

❻ Logement pour carte mémoire SDHC

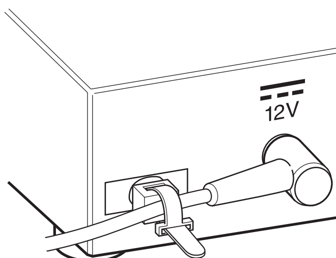
Accepte les cartes mémoire SDHC.
Avant d'insérer une carte mémoire SDHC, assurez-vous d'avoir consulté la section « Précautions » à la page 30.
Ce logement est appelé « logement pour carte mémoire » dans ce document.

Arrière



❶ Orifice de fixation du support d'attache de câble

Installez ici le support d'attache de câble lorsque vous souhaitez fixer le cordon d'alimentation, le câble HDMI et d'autres câbles au lecteur. Installez une attache de câble disponible dans le commerce comme indiqué dans l'illustration et fixez-la au support d'attache de câble.
Utilisez une attache de câble d'une épaisseur inférieure ou égale à 1,9 mm et d'une largeur inférieure ou égale à 3,8 mm.



❷ Connecteur 12V

Permet de raccorder un cordon d'alimentation.

❸ Connecteur REMOTE OUT

Permet de raccorder un écran d'affichage avec interface RS-232C à l'aide d'un câble RS-232C.

❹ Connecteur LAN (10/100) (réseau) (10BASE-T/100BASE-TX)

Permet de raccorder le lecteur à un réseau à l'aide d'un câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX.

ATTENTION

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port.

❺ Connecteur AV OUT

Permet de raccorder un écran d'affichage à l'aide d'un câble HDMI.

❻ Connecteur RGB OUT (analogique)

Permet de raccorder un écran d'affichage à l'aide d'un câble RVB.

❼ Connecteur AUDIO OUT

Permet de raccorder un équipement audio à l'aide d'un câble à mini-fiche stéréo.

❽ Emplacement de sécurité

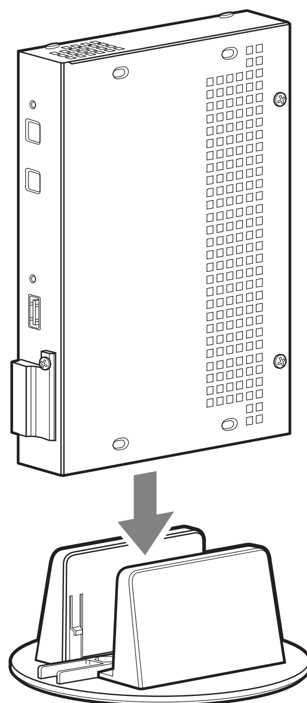
Fixez ici un câble de sécurité disponible dans le commerce.
Pour plus de détails sur la façon d'utiliser un câble de sécurité, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec le câble de sécurité.

Installation verticale du lecteur

Lors de l'installation du lecteur en position verticale, utilisez toujours le support vertical fourni et fixez le lecteur au support tel qu'illustré.

Fixation du support

Insérez le lecteur dans le support jusqu'à ce qu'il se mette en place en émettant un déclic.



Retrait du support

Maintenez le support et soulevez le lecteur pour le retirer.

Raccordement du lecteur

Avant le raccordement

Remarque

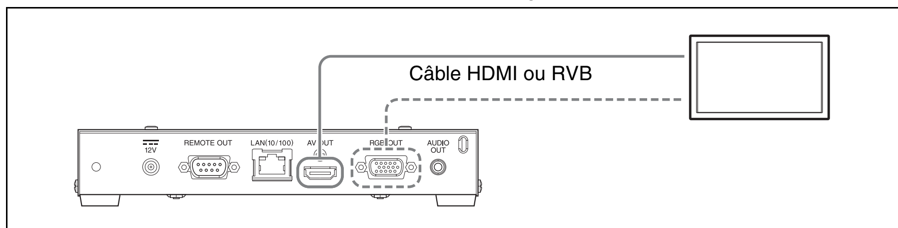
Deux adresses IP sont nécessaires lorsque vous effectuez des opérations en réseau.
Avec les réglages par défaut, les adresses IP 1 et 2 sont définies de façon à être attribuées automatiquement par DHCP.

Si vous voulez revenir aux réglages par défaut après avoir changé les réglages d'adresse IP et DHCP, débranchez d'abord le cordon d'alimentation, puis rebranchez-le tout en maintenant le bouton INFO enfoncé afin de réinitialiser les réglages du lecteur.
Les adresses IP 1 et 2 peuvent être réglées dans Signage Web Manager. Pour en savoir plus, consultez le Mode d'emploi (au format PDF) stocké sur le CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) fourni avec le lecteur. Notez les adresses IP 1 et 2 dans « Setup Memo » sur la quatrième de couverture de ce manuel.
Pour les adresses IP 1 et 2, définissez des adresses uniques qui n'écrasent pas celle des autres périphériques.

Raccordez le lecteur à un écran d'affichage et un ordinateur comme suit.

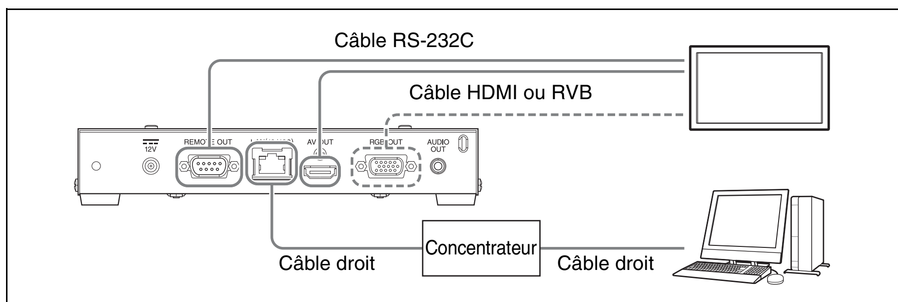
Pour le fonctionnement en dehors d'un réseau

Raccordez le lecteur à un écran d'affichage à l'aide d'un câble HDMI ou RVB.



Pour le fonctionnement sur un réseau

1. Raccordez le lecteur et l'ordinateur à un réseau.
2. Raccordez le lecteur à un écran d'affichage à l'aide d'un câble HDMI ou RVB.
3. Pour contrôler le périphérique, raccordez le lecteur à l'écran d'affichage ou au périphérique à l'aide d'un câble RS-232C, en plus du câble HDMI ou RVB.

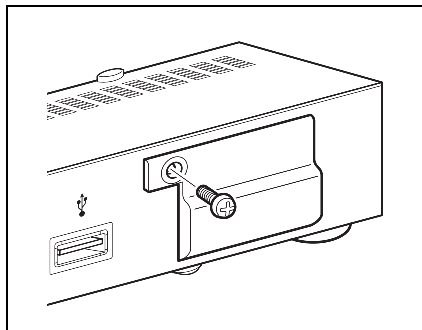


Préparation de la mémoire

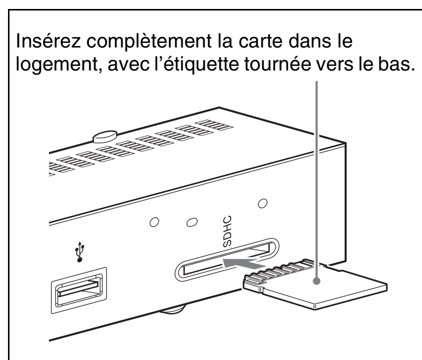
Une carte mémoire SDHC est nécessaire pour pouvoir utiliser ce lecteur. Le cas échéant, vous pouvez également utiliser des périphériques USB à mémoire flash.
Pour obtenir des informations sur les supports pris en charge (cartes mémoire SDHC et périphériques USB à mémoire flash), reportez-vous au document liste des supports fourni ou au fichier liste des supports (Media_List.pdf) qui se trouve sur le CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player).

Insertion des cartes mémoire SDHC

1 Retirez la vis de fixation du couvercle du logement à l'aide d'un tournevis en croix Philips, puis ouvrez le couvercle du logement.



2 Insérez la carte mémoire SDHC dans le logement pour carte mémoire.



Remarque

Veillez à insérer la carte mémoire SDHC dans le bon sens, comme indiqué sur l'illustration.

3 Replacez le couvercle du logement et resserrez la vis de fixation à l'aide d'un tournevis en croix Philips.

Confirmation du fonctionnement

Utilisez une carte mémoire SDHC pour confirmer que le lecteur fonctionne.

1 Insérez une carte mémoire SDHC qui contient des données dans le lecteur.

2 Mettez sous tension le lecteur et l'écran d'affichage.
Les données stockées sur la carte mémoire SDHC s'afficheront alors automatiquement.

Supports et formats de fichier compatibles

Support Cartes mémoire SDHC (Classe 10), périphérique USB à mémoire flash

Format de fichier
Format JPEG, format H.264, format MPEG2, etc.

Résolution maximale*
Format JPEG : 1920 × 1080
Format PNG : 1920 × 1080
Format BMP : 1920 × 1080
Format H.264 : 1920 × 1080
Format MPEG2-TS :
1920 × 1080
Format MPEG2-PS :
720 × 576

Résolution minimale
320 × 240
(format PNG uniquement)
640 × 480 (tous les autres formats)

* Plus la résolution est haute, plus le temps nécessaire à l'affichage des images est long.

Pour en savoir plus, reportez-vous au mode d'emploi qui se trouve sous forme de fichier PDF sur le CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) fourni avec le VSP-BZ10.

Retrait des cartes mémoire SDHC

1 Retirez la vis de fixation du couvercle du logement à l'aide d'un tournevis en croix Philips.

2 Appuyez sur la carte mémoire SDHC, puis retirez la carte.

3 Replacez le couvercle du logement et resserrez la vis de fixation à l'aide d'un tournevis en croix Philips.

Remarque

Avant de retirer une carte mémoire SDHC, assurez-vous d'avoir consulté la section « Précautions » à la page 30.

Caractéristiques techniques

Entrée/sortie

Réseau 10BASE-T/100BASE-TX
(les vitesses de connexion peuvent varier en fonction de l'environnement en réseau)

Logement pour carte mémoire
SDHC

USB USB haute vitesse
(conforme à USB 2.0)

Général

Dimensions 200 × 33 × 139 mm (7 7/8 × 1 5/16 × 5 1/2 pouces) (L/H/P)
(sans les parties saillantes)

Poids Env. 800 g (28 onces)

Consommation électrique
Env. 14 W

Courant d'appel
(1) Courant d'appel maximum possible à la mise en marche initiale (changements de tension dus au basculement manuel) : 48,5 A crête, 6,5 A r.m.s. (240 V CA)
(2) Courant d'appel après une coupure d'alimentation secteur de cinq secondes (changements de tension causés au point de passage à zéro) : 7,5 A crête, 2,5 A r.m.s. (240 V CA)

Température de fonctionnement
0 °C à 40 °C
(32 °F à 104 °F)

Température de stockage
–20 °C à +55 °C
(–4 °F à +131 °F)

Témoins LAN
Link (vert)/Act (orange)

Longueur du câble
100 m (328 pieds) max (Catégorie 5e)

Articles fournis
Manuel d'installation (ce manuel)
Guide de démarrage
Liste des supports
Support d'attache de câble
Support vertical
CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player)
Adaptateur CA

Cordon d'alimentation recommandé

Pour les États-Unis et le Canada uniquement
Référence 1-757-562-1X

Pour l'Europe uniquement
Référence 1-575-131-8X

Pour l'Océanie uniquement
Référence 1-555-074-5X

La conception et les caractéristiques techniques sont sujettes à des modifications sans préavis.

Remarques
- Effectuez toujours un essai d'enregistrement pour vérifier que l'enregistrement s'est fait correctement. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, suite au manquement de cet appareil ou de son support d'enregistrement, de systèmes de mémoire extérieurs ou de tout autre support ou système de mémoire à enregistrer un contenu de tout type.**
- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit**.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (2-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (2-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Das Gerät nicht an Orten aufstellen, z.B. in Bücherregalen oder Einbauschränken, wo keine ausreichende Belüftung gewährleistet ist.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt die EMV-Richtlinie der EG-Kommission.
Angewandte Normen:

- EN55103-1: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störaussendung)
- EN55103-2: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störfestigkeit)

Für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen: E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtbereich im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio).

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Sicherheitsmaßnahmen

- Die technischen Daten dieses Geräts können im Zuge von Verbesserungen jederzeit und ohne Vorankündigung geändert werden.
- Verbinden Sie aus Sicherheitsgründen den Anschluss dieses Players nur mit Netzwerken, die gegen Überspannung und Spannungsspitzen geschützt sind.
- Dieser Player unterstützt ausschließlich SDHC-Speicherkarten, die mit FAT32-Dateisystemen formatiert wurden.
- Wenn die Anzeige ACCESS leuchtet oder grün blinkt, liest oder schreibt der Player Daten. Falls USB-Flash-Speicher während des Zugriffs herausgenommen werden, können es sowie die darauf gespeicherten Daten beschädigt werden.
- Wenn Sie eine SDHC-Speicherkarte entfernen oder einsetzen, darf das Netzkabel nicht angeschlossen sein.

Hinweise zu den im Speicher befindlichen Daten

- Zusätzlich zu den verschiedenen Funktionseinstellungen werden IP-Adressen und E-Mail-Adressen im Speicher des Players gespeichert. Wir empfehlen, vor Entsorgung oder Weitergabe des VSP-BZ10 dessen Speicher zu löschen. Einzelheiten zum Löschen der Daten siehe „Zurücksetzen auf Voreinstellungen" im Abschnitt „Verwenden des Signage Web Manager" der Bedienungsanleitung (PDF-Datei auf der mitgelieferten CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player)).
- Sony übernimmt keine Haftung oder Entschädigung für Schäden an im Speicher des Players abgelegten Daten oder deren Verlust aufgrund von Defekten, Reparaturen oder anderen Gründen. Sony kann verlorengegangene oder beschädigte Daten nicht wiederherstellen.

Hinweise zu externen Speichermedien

Sony übernimmt keine Verantwortung, falls gleich aus welchem Grund Daten nicht auf externen Speichermedien gespeichert werden können oder falls die gespeicherten Daten verlorengehen oder beschädigt werden. Sony übernimmt keine Haftung oder Entschädigung für zufälligen oder anderweitigen Datenverlust.

- Das SD-Logo ist ein Markenzeichen.
- Das SDHC-Logo ist ein Markenzeichen.
- Alle anderen in diesem Handbuch genannten Produktbezeichnungen, Unternehmensnamen usw. sind Markenzeichen oder registrierte Markenzeichen ihrer jeweiligen Eigentümer.

Informationen zu diesem Handbuch

Dieses Handbuch beschreibt die Vorbereitung des Players VSP-BZ10.
Weitere Informationen zum Gebrauch des Players schlagen Sie in den nachfolgend aufgeführten Handbüchern nach.

- **Bedienungsanleitung (PDF-Datei)**
  Enthält eine Beschreibung der Bedienung dieses Players. Dieses Dokument ist als PDF-Datei auf der zumVSP-BZ10 mitgelieferten CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) enthalten. Legen Sie die CD-ROM in das Laufwerk des Computers.

Verwendung der Handbücher auf der CD-ROM

Zu diesem Gerät wird eine CD-ROM mitgeliefert.
Die CD-ROM „Software & Manuals for Digital Signage Player“ beinhaltet die Bedienungsanleitung und die Benutzerhandbücher für diesen Player (in Englisch, Japanisch, Französisch, Deutsch, Italienisch und Spanisch) im PDF-Format.

Vorbereitungen

Um die auf der CD-ROM gespeicherten Anleitungen anzeigen zu können, muss das nachfolgend aufgeführte Programm auf Ihrem Computer installiert sein.

- Adobe Reader Version 6.0 oder höher

Info

Wenn der Adobe Reader nicht installiert ist, können Sie ihn von folgender URL herunterladen:
http://www.adobe.com

Adobe und Adobe Reader sind Markenzeichen der Adobe Systems Incorporated.

Anzeige der Handbücher auf der CD-ROM

Um die Handbücher anzuzeigen, gehen Sie wie nachfolgend beschrieben vor.

1 Legen Sie die CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk ein.

2 Öffnen Sie im Windows Explorer den auf der CD-ROM gespeicherten Ordner „Manual“.

3 Klicken Sie auf das anzuzeigende Dokument.
Die entsprechende PDF-Datei wird daraufhin geöffnet.

Info

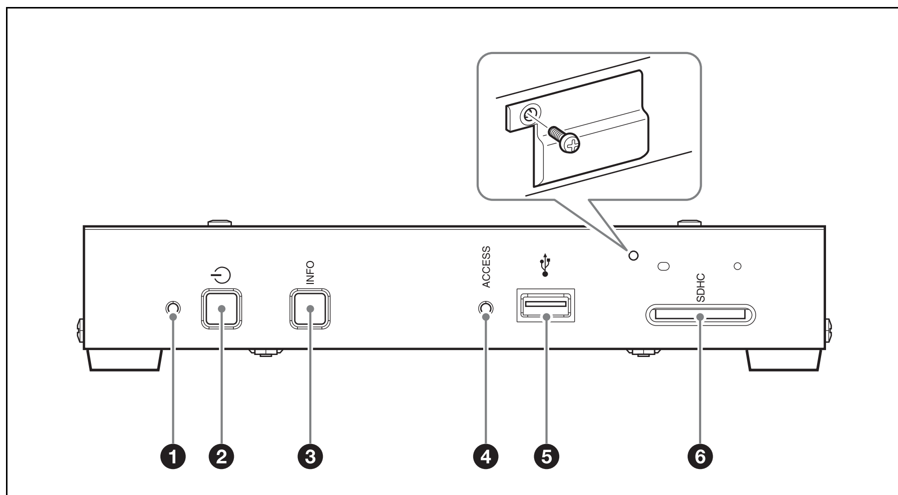
Je nach der Version von Adobe Reader werden die Dateien möglicherweise nicht richtig angezeigt. Laden Sie in diesem Fall die neueste Version von der unter „Vorbereitungen“ genannten URL herunter.

Hinweis

Falls die CD-ROM beschädigt wurde oder verlorengegangen ist, wenden Sie sich zum Erwerb einer neuen CD-ROM an Ihren Sony-Händler.

Bezeichnung und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite



❶ Bereitschafts-Anzeige

Diese Anzeige leuchtet oder blinkt entsprechend dem Status des Players wie nachfolgend aufgeführt.

Anzeige	Bedeutung
Leuchtet orange	Einschaltvorgang
Blinkt rot	Nach dem Einschalten geht das Gerät in den Bereitschaftsmodus
Leuchtet rot	Gerät ist im Bereitschaftsstatus
Blinkt grün	Player wird zum Betrieb vorbereitet oder schaltet aus einem Betriebszustand in den Bereitschaftsmodus
Leuchtet grün	Player ist in Betrieb

❷ Taste ⏻ (Standby)

Halten Sie diese Taste wenigstens drei Sekunden lang gedrückt, um den Player in den Standby-Betrieb zu schalten. Drücken Sie diese Taste erneut, um den Player zu starten.

❸ Taste INFO

Zeigt die Firmware-Version, IP-Adresse, die aktuelle Uhrzeit und Seriennummer auf dem Monitor an.
Zur Betätigung der Taste INFO muss die Bereitschafts-Anzeige grün leuchten.

❹ Anzeige ACCESS

Diese Anzeige leuchtet grün, wenn auf das USB-Flash-Laufwerk zugegriffen wird.

❺ Anschluss (USB)

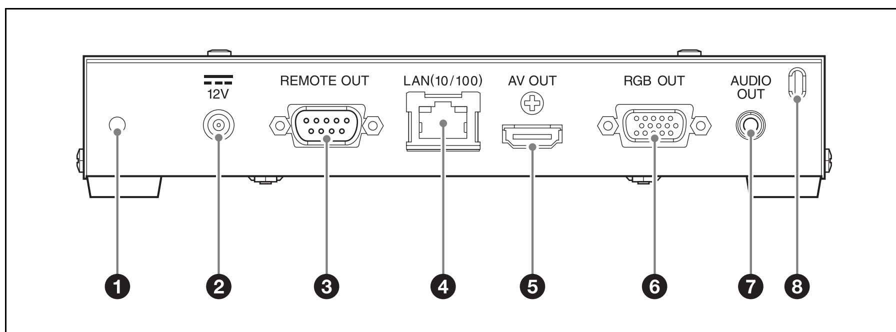
Wenn Sie unter Verwendung der Signage Player Management Software Daten von einem USB-Flash-Speicher senden, setzen Sie den USB-Flash-Speicher hier ein.

❻ **SDHC-Speicherkarten-Steckplatz**

Zum Einsetzen von SDHC-Speicherkarten. Lesen Sie vor dem Einsetzen einer SDHC-Speicherkarte den Abschnitt „Sicherheitsmaßnahmen“ auf Seite 42.

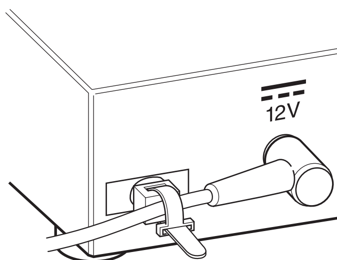
Im Folgenden wird dieser Steckplatz als „Speicherkarten-Steckplatz“ bezeichnet.

Rückseite



❶ Befestigungsöffnung für Kabelbinderhalter

Befestigen Sie hier den Kabelbinderhalter, wenn Sie das Netzkabel, HDMI-Kabel und andere Kabel am Player sichern wollen. Bringen Sie wie in der Abbildung gezeigt einen handelsüblichen Kabelbinder an, und sichern Sie diesen am Kabelbinderhalter. Verwenden Sie einen Kabelbinder mit einer Stärke von maximal 1,9 und einer Breite von maximal 3,8 mm.



❷ Anschluss 12V

Zum Anschluss eines Stromkabels.

❸ Anschluss REMOTE OUT

Zum Anschluss eines Monitors mit RS-232C-Schnittstelle über ein RS-232C-Kabel.

❹ Netzwerk Anschluss LAN (10/100) (10BASE-T/100BASE-TX)

Zum Anschluss des Players an ein Netzwerk über ein 10BASE-T/100BASE-TX LAN-Kabel.

VORSICHT

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte. Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse.

❺ Anschluss AV OUT

Zum Anschluss an einen Bildschirm über ein HDMI-Kabel.

❻ Anschluss RGB OUT (analog)

Zum Anschluss an einen Bildschirm über ein RGB-Kabel.

❼ Anschluss AUDIO OUT

Zum Anschluss an ein Audiogerät über ein Stereo-Miniklinkensteckerkabel.

❽ Sicherheitssteckplatz

Bringen Sie hier ein handelsübliches Sicherheitskabel an.

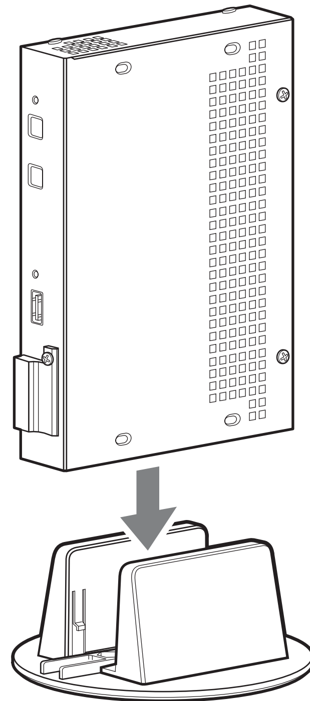
Einzelheiten zur Verwendung des Sicherheitskabels finden Sie in der Bedienungsanleitung des Sicherheitskabels.

Aufstellen des Players in vertikaler Position

Wenn Sie den Player in vertikaler Position aufstellen, benutzen Sie jedenfalls den vertikalen Standfuß und machen Sie den Player wie abgebildet am Standfuß fest.

Anbringen des Standfußes

Schieben Sie den Player in den Standfuß, bis er hörbar einrastet.



Entfernen des Standfußes

Halten Sie den Standfuß auf den Boden gedrückt, und ziehen Sie den Player heraus.

Anschließen des Players

Vor dem Anschluss

Hinweis

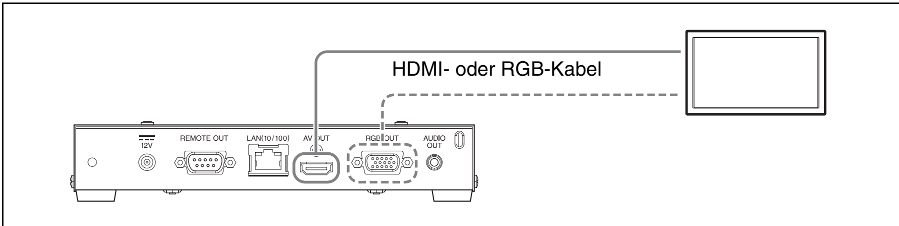
Zum Ausführen von Netzwerkoperationen werden zwei IP-Adressen benötigt.
In der Standardeinstellung werden die IP-Adressen 1 und 2 automatisch durch DHCP zugewiesen.

Wenn Sie nach einer Änderung der DHCP-Einstellungen und IP-Adressen die Standardbedingungen wiederherstellen wollen, ziehen Sie zunächst den Netzstecker. Stecken Sie ihn dann bei gedrückter Taste INFO wieder ein, um die Einstellungen des Players zurückzusetzen.
IP-Adresse 1 und 2 können in Signage Web Manager eingestellt werden. Ausführliche Informationen finden Sie in der Bedienungsanleitung (PDF-Format) auf der im Lieferumfang des Players enthaltenen CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player). Notieren Sie die IP-Adressen 1 und 2 im Abschnitt „Setup Memo“ auf der Einbandrückseite dieses Handbuchs.
Wählen Sie für die IP-Adressen 1 und 2 eindeutige Adressen aus, die keinen anderen Geräten im Netzwerk zugewiesen sind.

Schließen Sie den Player folgendermaßen an einen Monitor und einen Computer an.

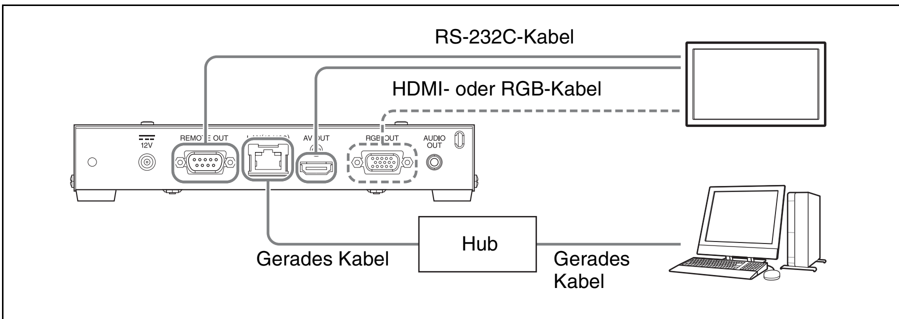
Bei Betrieb außerhalb eines Netzwerks

Schließen Sie den Player mit einem HDMI- oder RGB-Kabel an einen Monitor an.



Bei Betrieb in einem Netzwerk

1. Schließen Sie den Player und Computer an ein Netzwerk an.
2. Schließen Sie den Player mit einem HDMI- oder RGB-Kabel an einen Monitor an.
3. Um das Gerät zu steuern, schließen Sie den Player zusätzlich zum HDMI- oder RGB-Kabel mit einem RS-232C-Kabel an den Bildschirm oder das Peripheriegerät an.

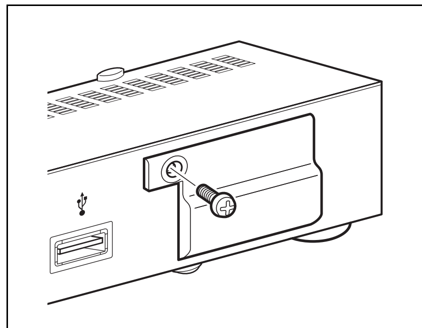


Vorbereiten des Speichers

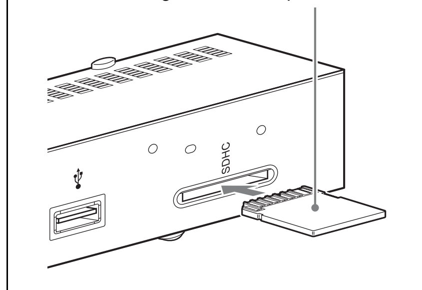
Um diesen Player zu verwenden, ist eine SDHC-Speicherkarte erforderlich. Bei Bedarf können Sie auch USB-Flash-Speicher verwenden.
Informationen zu unterstützten Medien (SDHC-Speicherkarten und USB-Flash-Speicher) finden in dem im Lieferumfang enthalten Dokument Medienliste oder der Datei Medienliste (Media_List.pdf) auf der CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player).

Einsetzen von SDHC-Speicherkarten

1 Entfernen Sie mit Hilfe eines Kreuzschlitz-Schraubendrehers die Befestigungsschraube der Abdeckung des Steckplatzes. Nehmen Sie dann die Abdeckung ab.



2 Setzen Sie die SDHC-Speicherkarte in den Speicherkarten-Steckplatz ein.



Hinweis

Achten Sie darauf, die SDHC-Speicherkarte korrekt ausgerichtet einzusetzen wie in der Abbildung gezeigt.

3 Bringen Sie die Abdeckung des Steckplatzes wieder an, und sichern Sie diese mit der Befestigungsschraube.

Prüfen des Betriebs

Mit Hilfe einer SDHC-Speicherkarte können Sie überprüfen, ob der Player korrekt funktioniert.

1 Setzen Sie eine SDHC-Speicherkarte mit Inhalt in den Player ein.

2 Schalten Sie Player und Monitor ein.
Die Wiedergabe des auf der SDHC-Speicherkarte befindlichen Inhalts beginnt danach automatisch.

Kompatible Medien und Dateiformate

Medien SDHC-Speicherkarten (Klasse 10), USB-Flash-Speicher

Dateiformat JPEG-Format, H.264-Format, MPEG2-Format usw.

Maximalauflösung*
JPEG-Format: 1920 × 1080
PNG-Format: 1920 × 1080
BMP-Format: 1920 × 1080
H.264-Format: 1920 × 1080
MPEG2-TS-Format: 1920 × 1080
MPEG2-PS-Format: 720 × 576

Minimalauflösung
320 × 240 (nur PNG-Format)
640 × 480 (alle weiteren)

* Je höher die Auflösung ist, desto länger dauert es bis zur Anzeige der Bilder.

Einzelheiten siehe Bedienungsanleitung als PDF-Datei auf der zum VSP-BZ10 mitgelieferten CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player).

Entnehmen von SDHC-Speicherkarten

1 Entfernen Sie mit Hilfe eines Kreuzschlitz-Schraubendrehers die Befestigung der Abdeckung des Steckplatzes.

2 Drücken Sie auf die SDHC-Speicherkarte, und entnehmen Sie die Karte.

3 Bringen Sie die Abdeckung des Steckplatzes wieder an, und sichern Sie diese mit der Befestigungsschraube.

Hinweis

Lesen Sie vor dem Herausnehmen einer SDHC-Speicherkarte den Abschnitt „Sicherheitsmaßnahmen“ auf Seite 42.

Technische Daten

Eingabe/Ausgabe

Netzwerk 10Base-T/100Base-TX
(Verbindungsgeschwindigkeit hängt von der Netzwerkumgebung ab)

Speicherkarten-Steckplatz
SDHC

USB Hi-Speed USB
(gemäß USB 2.0)

Allgemeines

Abmessungen 200 × 33 × 139 mm (B × H × T)
(ohne herausragende Teile)

Gewicht ca. 800 g

Leistungsaufnahme
ca. 14 W

Einschaltstrom
(1) Maximal möglicher Einschaltstrom beim ersten Einschalten (Spannungsänderungen durch manuelles Umschalten): 48,5 A Spitze, 6,5 A r.m.s. (240 V AC)
(2) Einschaltstrom nach Netzunterbrechung von fünf Sekunden (Spannungsänderung am Nulldurchgang): 7,5 A Spitze, 2,5 A r.m.s. (240 V AC)

Betriebstemperatur
0 °C bis 40 °C

Lagertemperatur
–20 °C bis +55 °C

LAN-Anzeigen
Verbindung (grün)/Aktiv (orange)

Kabellänge max. 100 m (Kategorie 5e)

Lieferumfang
Installationsanleitung (vorliegendes Handbuch)
Handbuch Erste Schritte
Medienliste
Kabelbinderhalter
Vertikalstandfuß
CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player)
Netzteil

Empfohlenes Netzkabel

Nur für USA und Kanada
Teile-Nr. 1-757-562-1X

Nur für Europa
Teile-Nr. 1-575-131-8X

Nur für Ozeanien
Teile-Nr. 1-555-074-5X

Gestaltung und technische Daten können ohne Ankündigung geändert werden.

Hinweise

- Führen Sie immer eine Probeaufnahme aus, und bestätigen Sie, dass die Aufnahme erfolgreich war.
  SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER SEINER DATENTRÄGER, EXTERNEN SPEICHERSYSTEMEN ODER JEGLICHEN ANDEREN DATENGRÄGERN ODER SPEICHERSYSTEMEN ZUR AUFNAHME VON INHALTEN JEDER ART ÜBERNEHMEN.
- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet.
  SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 2 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 2 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

No instale el aparato en un lugar estrecho como en una biblioteca o mueble integrado.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

Para los clientes de Europa

Este producto con marcado CE cumple con las directivas de compatibilidad electromagnética de la Comisión Europea.
El cumplimiento de estas directivas implica la conformidad con los siguientes estándares europeos:
- EN55103-1: Interferencia electromagnética (Emisión)
- EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)

Este producto ha sido diseñado para utilizarse en los entornos electromagnéticos siguientes: E1 (zona residencial), E2 (zona comercial e industrial ligera), E3 (exteriores urbanos), y E4 (entorno con EMC controlada, p. ej., estudio de televisión).

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Precauciones

- Las especificaciones de este reproductor están sujetas a posibles actualizaciones sin previo aviso.
- Por su seguridad, conecte el puerto de este reproductor únicamente a una red donde no haya riesgo de sufrir un excesivo voltaje ni descargas eléctricas.
- Este reproductor sólo es compatible con tarjetas de memoria SDHC formateadas con sistemas de archivos FAT32.
- Cuando el indicador ACCESS se ilumina o parpadea en verde, significa que el reproductor está leyendo o escribiendo datos. La extracción de la unidad de memoria flash USB mientras está siendo utilizada puede dañar los datos o estropear esto dispositivo de memoria.
- Cuando extraiga o inserte una tarjeta de memoria SDHC, asegúrese de que el cable de alimentación esté desconectado.

Notas acerca de los datos almacenados en la memoria

- Además de disponer de diversas configuraciones de funciones, las direcciones de correo electrónico y de IP se almacenan en la memoria del reproductor. Se recomienda encarecidamente borrar los datos almacenados en la memoria del reproductor cuando se elimine o transfiera la propiedad del VSP-BZ10. Si desea obtener más información acerca de cómo borrar los datos, consulte el apartado “Restablecimiento de los ajustes predeterminados” de la sección “Utilización del Signage Web Manager” en el Manual de instrucciones (que encontrará en formato PDF en el CD-ROM “Software & Manuals for Digital Signage Player” suministrado).
- Le informamos de que Sony declinará toda responsabilidad y no dará compensaciones por pérdidas ni por daños de ningún tipo de los datos almacenados en la memoria del reproductor que se produzcan a causa de los defectos ocasionados por reparaciones o por cualquier otra razón. También debe saber que Sony no puede restaurar ningún dato perdido o dañado.

Nota acerca de los medios de almacenamiento externos

Le informamos de que Sony no asume ninguna responsabilidad por la incapacidad de almacenar datos en un medio de almacenamiento externo ni por la pérdida o daños de ningún dato almacenado en él, en ningún caso, y que no se responsabilizará ni dará compensaciones por ningún daño infligido a los datos, ya sea de forma accidental o de cualquier otro modo.

- El logotipo SD es una marca comercial.
- El logotipo SDHC es una marca comercial.
- Todos los nombres de productos, compañías, etc. restantes mencionados en este manual son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.

Acerca de este manual

Este manual describe cómo preparar el reproductor VSP-BZ10.
Si desea obtener más información sobre cómo utilizar el reproductor, consulte los siguientes manuales.

- **Manual de instrucciones (en formato PDF)**
  Describe el funcionamiento de este reproductor. Este documento se incluye como un archivo PDF en el CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) que se suministra con el VSP-BZ10. Introduzca el CD-ROM en el reproductor de CD-ROM del ordenador.

Empleo del manual en CD-ROM

Esta unidad se suministra con un disco CD-ROM.
El CD-ROM denominado "Software & Manuals for Digital Signage Player" incluye un manual de instrucciones y las guías del usuario de este reproductor (versiones en inglés, japonés, francés, alemán, italiano y español) en formato PDF.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones y las guías de usuario del CD-ROM es necesario instalar el siguiente programa en el ordenador.

- Adobe Reader versión 6.0 o posterior

Sugerencia

Si Adobe Reader no está instalado, se puede descargar en la dirección siguiente:
http://www.adobe.com

Adobe y Adobe Reader son marcas comerciales de Adobe Systems Incorporated.

Para leer el manual en CD-ROM

Para ver los manuales, siga las instrucciones que se indican a continuación.

1. Introduzca el disco en la unidad de CD-ROM.
2. Abra la carpeta Manual del CD-ROM con Windows Explorer.
3. Haga clic en el manual que desee leer.
   Se abre el archivo en formato PDF.

Sugerencia

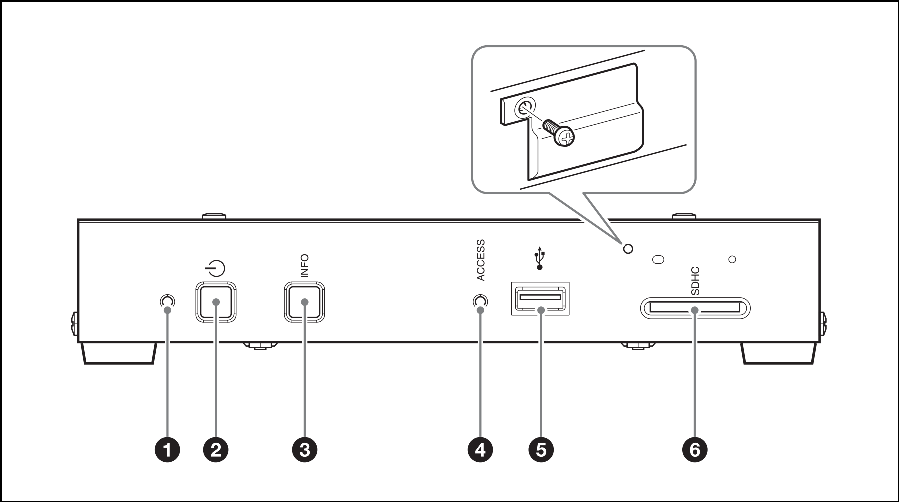
Es posible que los archivos no se muestren correctamente en función de la versión de Adobe Reader. En tal caso, instale la versión más reciente del software que puede descargar en la dirección URL mencionada en el apartado "Preparativos" anterior.

Nota

Si su disco CD-ROM se daña o se pierde, puede ponerse en contacto con el distribuidor de Sony más próximo para comprar un disco nuevo.

Nombres y funciones de partes y controles

Parte frontal



❶ Indicador de espera

Según el estado del reproductor, este indicador se ilumina o parpadea en los colores siguientes.

Estado del indicador	Significado
Se ilumina en naranja	Encendido
Parpadea en rojo	Entrando en estado de espera después de su encendido
Se ilumina en rojo	Actualmente se encuentra en estado de espera
Parpadea en verde	Se prepara para su funcionamiento, o entrando en estado de espera tras un estado de funcionamiento
Se ilumina en verde	El reproductor está funcionando

❷ Botón ⏻ (en espera)

Mantenga este botón pulsado al menos tres segundos para establecer el reproductor en el estado de espera. Vuelva a pulsarlo para iniciar el reproductor.

❸ Botón INFO

Muestra en la pantalla la versión del firmware, la dirección IP, la hora actual y el número de serie.
Púlselo cuando el indicador de espera esté iluminado en verde.

❹ Indicador ACCESS

Este indicador se ilumina en verde cuando se accede a la unidad flash USB.

❺ Puerto ⭍ (USB)

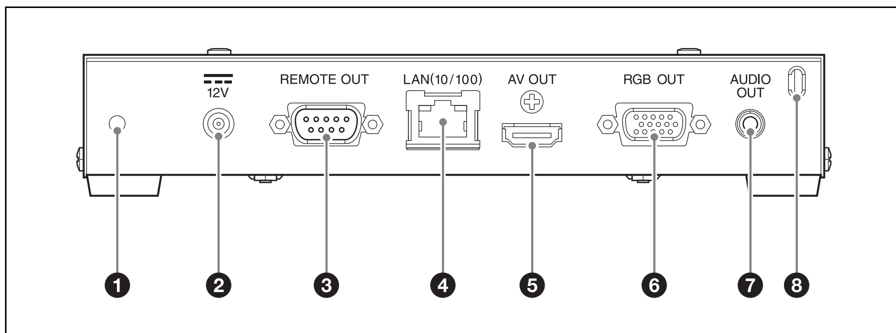
Cuando envíe datos desde una unidad flash USB con el Software de gestión de Signage Player, inserte la unidad flash USB en este puerto.

❻ Ranura para tarjeta de memoria SDHC

Es compatible con las tarjetas de memoria SDHC.

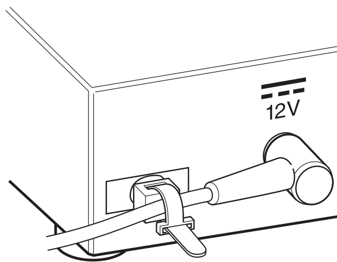
Antes de insertar una tarjeta de memoria SDHC, asegúrese de leer el apartado “Precauciones” de la página 54.
En este documento, para referirnos a esta ranura utilizaremos el término “ranura para tarjeta de memoria”.

Parte posterior



❶ Orificio de fijación del soporte de la brida para cables

Acople el soporte de la brida para cables aquí cuando desee sujetar con seguridad el cable de alimentación, el cable HDMI y otros cables al reproductor. Coloque una brida disponible en el mercado tal como que se indica en la ilustración y fíjela al soporte de la brida para cables.
Utilice una brida de 1,9 mm o menos de grosor, y de 3,8 mm o menos de anchura.



❷ Conector 12V

Sirve para conectar un cable de alimentación.

❸ Conector REMOTE OUT

Sirve para conectar una pantalla con interfaz RS-232C mediante un cable RS-232C.

❹ Conector de red LAN (10/100) (10BASE-T/100BASE-TX)

Sirve para conectar el reproductor a una red mediante el uso de un cable LAN 10BASE-T/100BASE-TX.

PRECAUCIÓN

Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión.

❺ Conector AV OUT

Sirve para conectar una pantalla mediante un cable HDMI.

❻ Conector RGB OUT (analógico)

Sirve para conectar una pantalla mediante un cable RGB.

❼ Conector AUDIO OUT

Sirve para conectar un equipo de audio mediante un cable con miniclavija estéreo.

❽ Ranura de seguridad

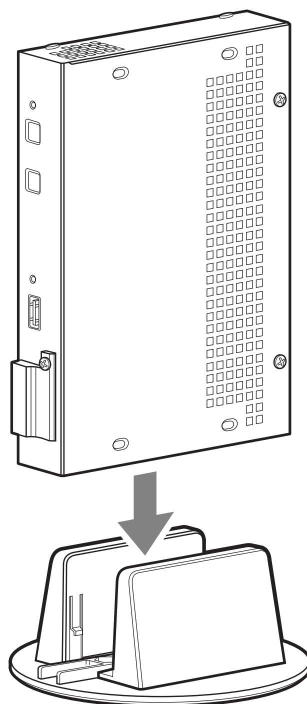
Acople aquí un cable de seguridad disponible en el mercado.
Para obtener más información acerca de cómo utilizar el cable de seguridad, consulte el manual de instrucciones suministrado con el cable de seguridad.

Colocación del reproductor en posición vertical

Para colocar el reproductor en posición vertical, utilice siempre el soporte vertical suministrado y fije el reproductor en el soporte como se muestra en la imagen.

Instalación del soporte

Inserte el reproductor en el soporte hasta que encaje en su lugar.



Extracción del soporte

Sujete el soporte y deslice el reproductor hacia el exterior.

Conexión del reproductor

Antes de realizar la conexión

Nota

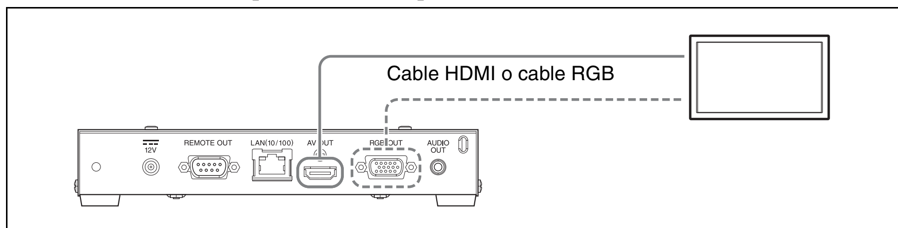
Cuando realice operaciones de red, se le solicitarán dos direcciones IP.
En los ajustes predeterminados de fábrica, las direcciones IP 1 y 2 están configuradas para que el DHCP las asigne automáticamente.

Si desea recuperar los valores predeterminados después de cambiar los ajustes de las direcciones DHCP e IP, primero desconecte el cable de alimentación y, a continuación, vuelva a conectarlo al tiempo que mantiene pulsado el botón INFO para restablecer los ajustes del reproductor.
Las direcciones IP 1 y 2 pueden configurarse en Signage Web Manager. Si desea obtener más información al respecto, consulte el manual de instrucciones (en formato PDF) incluido en el CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) que se suministra con el reproductor. Escriba las direcciones IP 1 y 2 en las “Setup Memo” de la contraportada de este manual.
Para las direcciones IP 1 y 2, establezca direcciones exclusivas que no coincidan con las de los otros dispositivos.

Conecte el reproductor a una pantalla y a un ordenador tal como se indica a continuación.

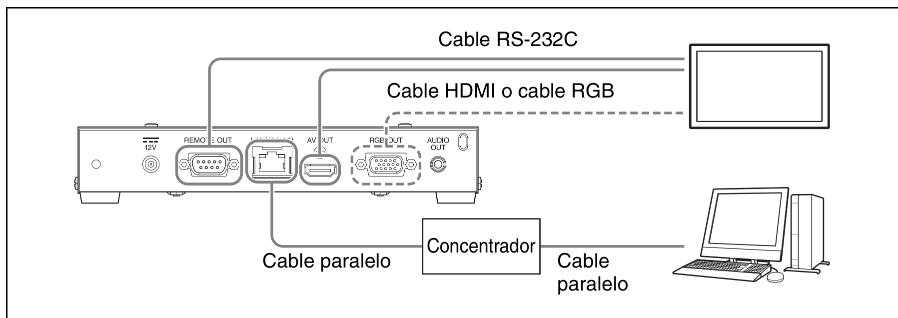
Para su uso fuera de una red

Conecte el reproductor a una pantalla con un cable HDMI o RGB.



Para su uso dentro de una red

1. Conecte el reproductor y el ordenador a una red.
2. Conecte el reproductor a una pantalla con un cable HDMI o RGB.
3. Para controlar el dispositivo, conecte el reproductor a la pantalla o al dispositivo periférico mediante un cable RS-232C, además del cable HDMI o el cable RGB.

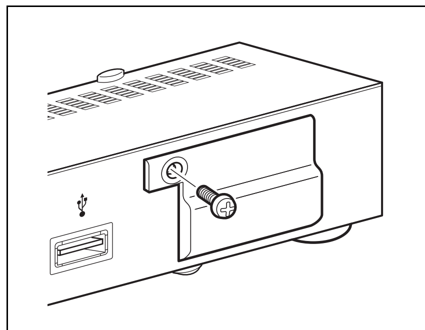


Preparación de la memoria

Para poder utilizar este reproductor, se le solicitará una tarjeta de memoria SDHC. Si fuera necesario, también puede utilizar unidades flash USB.
Si desea obtener información sobre los dispositivos compatibles (tarjetas de memoria SDHC y unidades flash USB), consulte el documento lista de soportes o el archivo lista de soportes (Media_List.pdf) en el CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) suministrado.

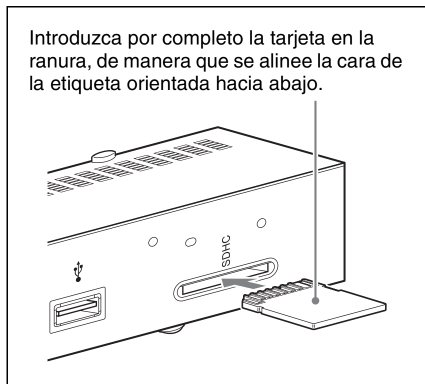
Inserción de tarjetas de memoria SDHC

1 Extraiga el tornillo de sujeción de la cubierta de la ranura con un destornillador Philips y abra la cubierta de la ranura.



2 Inserte la tarjeta de memoria SDHC en la ranura para tarjetas de memoria.

Introduzca por completo la tarjeta en la ranura, de manera que se alinee la cara de la etiqueta orientada hacia abajo.



Nota

Asegúrese de introducir la tarjeta de memoria SDHC con la orientación correcta, tal como se muestra en la ilustración.

3 Vuelva a colocar la cubierta de la ranura y apriete el tornillo de sujeción con un destornillador Philips.

Confirmación de la operación

Utilice una tarjeta de memoria SDHC para confirmar que el reproductor funciona.

1 Inserte una tarjeta de memoria SDHC que contenga datos en el reproductor.

2 Encienda el reproductor y la pantalla.
La reproducción del contenido almacenado en la tarjeta de memoria SDHC se iniciará automáticamente.

Soportes de almacenamiento y formatos de archivo compatibles

Soportes Tarjetas de memoria SDHC (Clase 10), unidad flash USB

Formatos de archivo
Formato JPEG, formato H.264, formato MPEG2, etc.

Resolución máxima*
Formato JPEG: 1920 × 1080
Formato PNG: 1920 × 1080
Formato BMP: 1920 × 1080
Formato H.264: 1920 × 1080
Formato MPEG2-TS: 1920 × 1080
Formato MPEG2-PS: 720 × 576

Resolución mínima
320 × 240 (solo para formato PNG)
640 × 480 (para el resto de formatos)

* Cuanto mayor sea la resolución, la pantalla mostrará imágenes más duraderas.

Si desea obtener información detallada, consulte el Manual de instrucciones suministrado en forma de archivo PDF en el CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) que se suministra con el VSP-BZ10.

Extracción de tarjetas de memoria SDHC

1 Extraiga el tornillo de sujeción de la cubierta de la ranura con un destornillador Philips.

2 Presione hacia adentro la tarjeta de memoria SDHC, y extráigala.

3 Vuelva a colocar la cubierta de la ranura y apriete el tornillo de sujeción con un destornillador Philips.

Nota

Antes de extraer una tarjeta de memoria SDHC, asegúrese de leer el apartado “Precauciones” de la página 54.

Especificaciones

Entrada/salida

Red 10BASE-T/100BASE-TX (las velocidades de conexión pueden variar en función del entorno de red)
Ranura para tarjeta de memoria
SDHC
USB USB de alta velocidad (compatible con USB 2.0)

General

Dimensiones 200 × 33 × 139 mm (an/al/prf) (sin incluir las partes salientes)
Peso 800 g, aproximadamente
Consumo eléctrico
14 W, aproximadamente
Corriente de irrupción
(1) Corriente de irrupción máxima posible en el encendido inicial (el voltaje cambia debido al encendido manual): pico de 48,5 A, 6,5 A r.m.s. (240 V CA)
(2) Corriente de irrupción tras una interrupción de la alimentación de cinco segundos (el voltaje cambia debido al cruce por cero): pico de 7,5 A, 2,5 A r.m.s. (240 V CA)
Temperatura de funcionamiento
de 0 °C a 40 °C
Temperatura de almacenamiento
de –20 °C a +55 °C
Indicadores LAN
Vínculo (verde)/Acción (naranja)
Longitud del cable
100 m como máximo (Categoría 5e)
Artículos suministrados
Manual de instalación (este manual)
Guía de inicio
Lista de soportes
Soporte de la brida para cables
Soporte vertical
CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player)
Adaptador de CA

Código de alimentación recomendado

Solo para EE. UU. y CANADÁ
Pieza n.º 1-757-562-1X
Solo para Europa
Pieza n.º 1-575-131-8X
Solo para Oceanía
Pieza n.º 1-555-074-5X

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Notas
- Haga siempre un ensayo de grabación y verifique que se grabó bien.
SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR FALLO EN HACER CUALQUIER TIPO DE CONTENIDO DE GRABACIÓN POR MEDIO DE ESTA UNIDAD O SU SOPORTE DE GRABACIÓN, SISTEMAS DE MEMORIA EXTERNA O CUALQUIER OTRO SOPORTE O SISTEMAS DE MEMORIA.
- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 2 anime)/connettore per l'apparecchio/spina approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 2 anime)/connettore per l'apparecchio/spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

Evitate di installare l'apparecchio in uno spazio limitato, tipo in una libreria o in un mobiletto incassato.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto recante il marchio CE è conforme sia alla direttiva sulla compatibilità elettromagnetica (EMC) emesse dalla Commissione della Comunità Europea.
La conformità a queste direttive implica la conformità alle seguenti normative europee:

- EN55103-1 : Interferenza elettromagnetica (Emissione)
- EN55103-2 : Sensibilità ai disturbi elettromagnetici (Immunità)

Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti ambienti elettromagnetici: E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali leggeri), E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad esempio studi televisivi).

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Precauzioni

- Le specifiche di questo riproduttore sono soggette a modifiche migliorative senza preavviso.
- Per ragioni di sicurezza, collegare la porta di questo riproduttore a una rete che non ponga rischi di tensione eccessiva o picchi di tensione.
- Questo riproduttore supporta solo le schede di memoria SDHC formattate con file system FAT32.
- Quando l'indicatore ACCESS è illuminato con luce fissa o lampeggiante verde, il riproduttore sta scrivendo o leggendo dati. Se si espelle un'unità Flash USB mentre è corso l'accesso, si possono verificare danni ai dati o all'unità Flash USB.
- Prima di inserire o rimuovere una scheda di memoria SDHC, controllare sempre che il cavo di alimentazione non sia collegato.

Note sui dati memorizzati in memoria

- Nella memoria del riproduttore sono memorizzi gli indirizzi IP ed e-mail oltre alle impostazioni di varie funzioni. Quando si getta via l'unità VSP-BZ10 o se ne trasferisce la proprietà, si raccomanda di cancellare i dati memorizzati nella relativa memoria. Per maggiori informazioni sull'eliminazione dei dati, consultare "Ripristino delle impostazioni predefinite" nella sezione "Utilizzo di Signage Web Manager" nelle Istruzioni per l'uso in formato PDF sul CD-ROM fornito (Software & Manuals for Digital Signage Player).
- Si noti che Sony non si assume alcuna responsabilità né assicura risarcimenti per qualsiasi perdita o danno ai dati memorizzati nella memoria del riproduttore conseguenti a difetti, riparazioni o a qualunque altro motivo. Si noti inoltre che Sony non è in grado di ripristinare eventuali dati persi o danneggiati.

Nota sui supporti di memoria esterni

Si noti che Sony non si assume alcuna responsabilità per l'impossibilità di memorizzare dati su un supporto di memoria esterno o per la perdita, per qualsiasi ragione, di danni memorizzati e non si assume responsabilità né assicura risarcimenti per qualunque danno ai dati incidentale o connesso.

- Il logo SD è un marchio.
- Il logo SDHC è un marchio.
- Tutti gli altri nomi di prodotti o società ecc. menzionati in questo manuale sono marchi o marchi registrati dei rispettivi proprietari.

Informazioni sul manuale

Il presente manuale descrive le procedure di preparazione del riproduttore VSP-BZ10. Fare riferimento ai seguenti manuali per ulteriori informazioni su come utilizzare il riproduttore.

- **Istruzioni per l'uso (formato PDF)**
  Descrive il funzionamento di questo riproduttore. Il documento è incluso come file PDF sul CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) allegato all'unità VSP-BZ10. Inserire il CD-ROM fornito nell'unità CD-ROM del computer.

Utilizzo del manuale del CD-ROM

Con l'unità è incluso un disco CD-ROM.
Il CD-ROM "Software & Manuals for Digital Signage Player" include le istruzioni per l'uso e le guide utente per questo riproduttore (versioni in inglese, giapponese, francese, tedesco, italiano e spagnolo) in formato PDF.

Operazioni preliminari

Per poter leggere le istruzioni per l'uso e le guide utente sul CD-ROM, è necessario installare sul computer il seguente programma.

- Adobe Reader versione 6.0 o successiva

Promemoria

Se Adobe Reader non fosse installato, è possibile scaricarlo dal seguente URL:
http://www.adobe.com

Adobe e Adobe Reader sono marchi di fabbrica di Adobe Systems Incorporated.

Lettura del manuale del CD-ROM

Per visualizzare i manuali procedere nel modo seguente.

1 Inserire il CD-ROM nell'unità del CD-ROM.

2 Aprire la cartella Manual sul CD-ROM mediante Windows Explorer.

3 Fare clic sul manuale che si desidera leggere.
Il file PDF viene aperto.

Promemoria

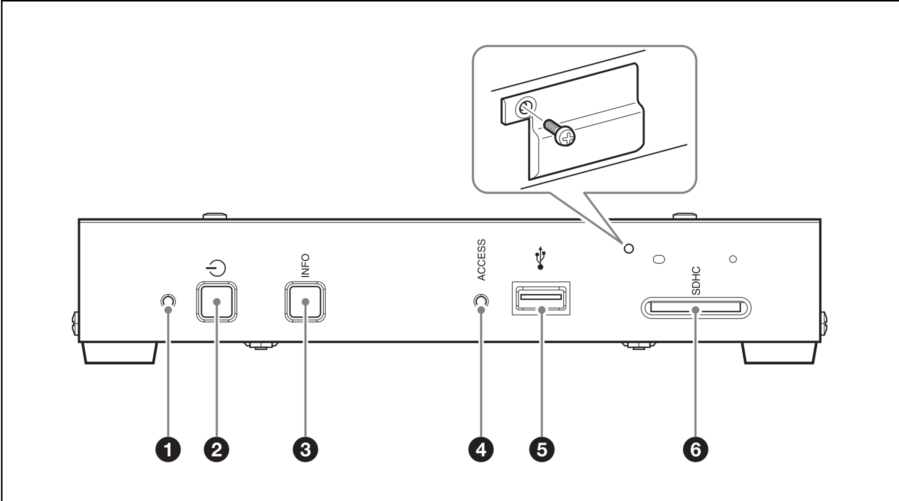
È possibile che i file non vengano visualizzati correttamente, a seconda della versione di Adobe Reader in uso. In questo caso, installare la versione aggiornata che è possibile scaricare accedendo all'URL riportato nella sezione "Operazioni preliminari" di cui sopra.

Nota

Se il CD-ROM si danneggia o va perduto, è possibile contattare il rivenditore locale Sony più vicino per l'acquisto di un nuovo disco.

Nomi e funzioni dei componenti e dei comandi

Lato anteriore



❶ Indicatore di standby

Questo indicatore si illumina con luce fissa o lampeggiante nei seguenti colori a seconda dello stato del riproduttore.

Stato dell'indicatore	Significato
Luce fissa arancione	Accensione
Luce rossa lampeggiante	Passaggio in modalità standby dopo l'accensione
Luce fissa rossa	In standby
Luce verde lampeggiante	Stato di pronto per il funzionamento, o passaggio in modalità standby da uno stato operativo
Luce fissa verde	Riproduttore in funzionamento

❷ Pulsante ⏻ (standby)

Tenere premuto questo pulsante per almeno tre secondi per impostare il lettore in modalità standby. Premere nuovamente il pulsante per avviare il lettore.

❸ Pulsante INFO

Visualizza sul display la versione del firmware, l'indirizzo IP, l'ora corrente e il numero di serie.
Premere il pulsante INFO quando l'indicatore di standby è illuminato con luce fissa verde.

❹ Indicatore ACCESS

Questo indicatore si illumina con luce verde durante l'accesso all'unità di memoria flash USB.

❺ Porta ⭠ (USB)

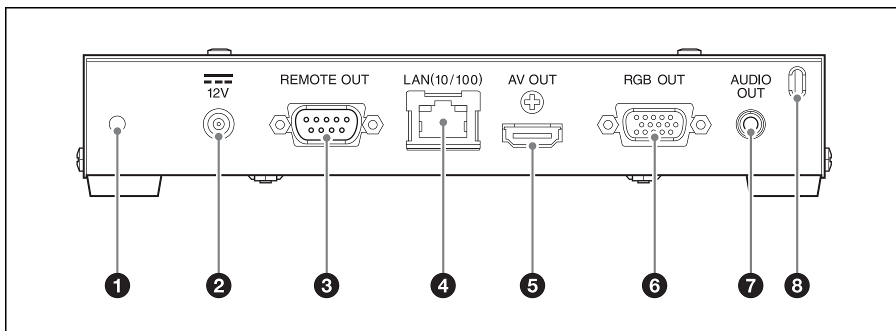
Per inviare dati da un'unità flash USB utilizzando il Signage Player Management Software, inserire qui l'unità flash USB.

❻ **Slot per scheda di memoria SDHC**

Consente di utilizzare schede di memoria SDHC.

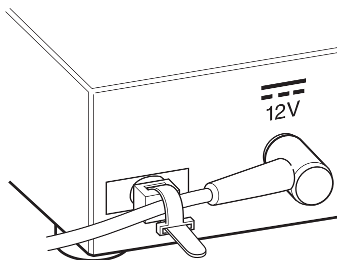
Prima di inserire una scheda di memoria SDHC, fare riferimento a “Precauzioni” a pagina 66.
Nel presente documento, questo slot è denominato “slot per scheda di memoria”.

Lato posteriore



❶ **Apertura di montaggio del supporto della fascetta fermacavo**

Consente di fissare il supporto della fascetta fermacavo per assicurare al riproduttore cavo di alimentazione, cavo HDMI e altri cavi. Utilizzare una normale fascetta fermacavo disponibile in commercio, come illustrato in figura, e fissarla al supporto. Utilizzare una fascetta fermacavo di spessore non superiore a 1,9 mm e di larghezza non superiore a 3,8 mm.



❷ **Connettore 12V**

Consente il collegamento del cavo di alimentazione.

❸ **Connettore REMOTE OUT**

Consente il collegamento a un display dotato di interfaccia RS-232C mediante un cavo RS-232C.

❹ **Connettore LAN (10/100) (rete) (10BASE-T/100BASE-TX)**

Consente di collegare il riproduttore a una rete mediante un cavo LAN 10BASE-T/ 100BASE-TX.

ATTENZIONE

Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta. Seguire le istruzioni per questa porta.

❺ **Connettore AV OUT**

Consente il collegamento a un display mediante un cavo HDMI.

❻ **Connettore RGB OUT (analogico)**

Consente il collegamento a un display mediante un cavo RGB.

❼ **Connettore AUDIO OUT**

Consente il collegamento ad apparecchi audio mediante un cavo dotato di spinotto mini stereo.

❽ Attacco cavetto di sicurezza

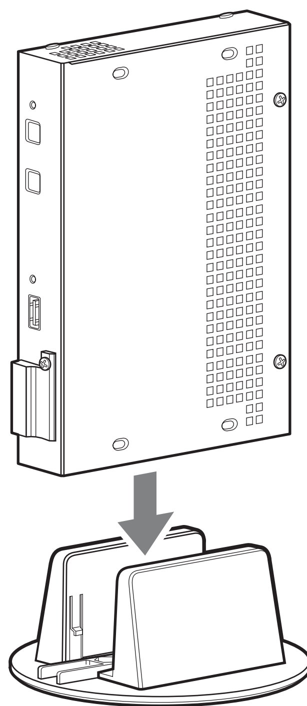
Fissare qui un cavo di sicurezza standard, disponibile in commercio.
Per informazioni sul montaggio del cavo di sicurezza, fare riferimento alle istruzioni fornite con il cavo stesso.

Collocazione verticale del riproduttore

Se il riproduttore viene collocato in posizione verticale, utilizzare sempre l'apposito supporto fornito e fissare il riproduttore al supporto come illustrato.

Montaggio del supporto

Inserire il riproduttore nel supporto fino allo scatto in posizione.



Rimozione del supporto

Estrarre il lettore mentre si tiene fermo il supporto.

Collegamento del riproduttore

Prima della connessione

Nota

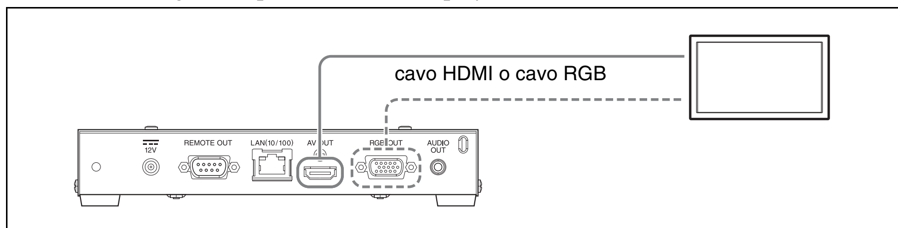
Per l'esecuzione di operazioni di rete sono necessari due indirizzi IP.
Per impostazione predefinita, gli indirizzi IP 1 e 2 vengono assegnati automaticamente tramite DHCP.

Se si desidera ripristinare le impostazioni predefinite dopo la modifica delle impostazioni di DHCP e degli indirizzi IP ed eseguire il reset delle impostazioni del riproduttore, scollegare il cavo di alimentazione, quindi ricollegarlo mantenendo premuto allo stesso tempo il pulsante INFO.
Gli indirizzi IP 1 e 2 possono essere impostati in Signage Web Manager. Per ulteriori informazioni, fare riferimento alle istruzioni per l'uso (in formato PDF) reperibili sul CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) fornito insieme all'apparecchio. Annotare gli indirizzi IP 1 e 2 nell'apposito spazio delle note di configurazione "Setup Memo" sul retro del presente manuale.
Gli indirizzi IP Address 1 e IP Address 2 devono essere configurati su valori univoci che non siano in conflitto con quelli di eventuali altri dispositivi.

Collegare il riproduttore a un display e a un computer come descritto di seguito.

Per il funzionamento fuori da una rete

Collegare il riproduttore a un display mediante un cavo HDMI o un cavo RGB.

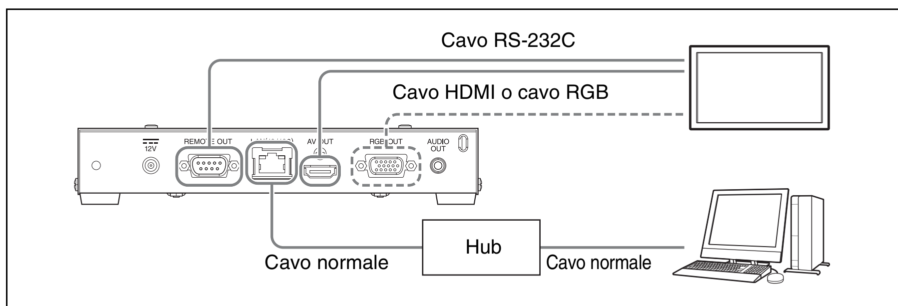


Per il funzionamento in rete

1 Collegare il riproduttore e il computer a una rete.

2 Collegare il riproduttore a un display mediante un cavo HDMI o un cavo RGB.

3 Per consentire il comando del dispositivo, è necessario collegare il lettore al display o al dispositivo anche mediante un cavo RS-232C, in aggiunta al collegamento con il cavo HDMI o RGB.

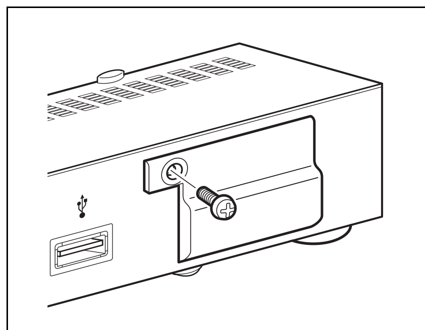


Preparazione della memoria

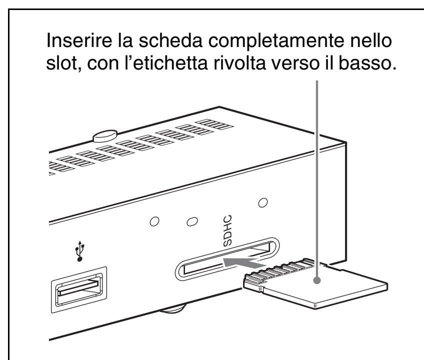
Per utilizzare questo riproduttore è necessaria una scheda di memoria SDHC. All'occorrenza è possibile utilizzare anche unità Flash USB.
Per informazioni sui dispositivi di memoria supportati (schede di memoria SDHC e unità flash USB), fare riferimento al documento elenco supporti incluso o al file elenco supporti (Media_List.pdf) reperibile sul CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player).

Inserimento delle schede di memoria SDHC

1 Con a cacciavite a croce rimuovere la vite di fissaggio del coperchio dello slot ed aprire il coperchio dello slot.



2 Inserire la scheda di memoria SDHC nello slot per schede di memoria.



Nota

Fare attenzione a inserire la scheda di memoria SDHC con l'orientamento corretto, come mostrato in figura.

3 Sostituire il coperchio dello slot e serrare la vite di fissaggio con un cacciavite a croce.

Verifica del funzionamento

Utilizzare una scheda di memoria SDHC per verificare che il riproduttore funzioni.

1 Inserire una scheda di memoria SDHC in grado di contenere il contenuto nel riproduttore.

2 Accendere il riproduttore e il display.
Poi viene automaticamente avviata la riproduzione del contenuto memorizzato nella scheda di memoria SDHC.

Supporti e formati di file compatibili

Supporti Schede di memoria SDHC (Class 10), unità Flash USB
Formato file Formato JPEG, formato H.264, formato MPEG2 ecc.
Risoluzione massima*
Formato JPEG: 1920 × 1080
Formato PNG: 1920 × 1080
Formato BMP: 1920 × 1080
Formato H.264: 1920 × 1080
Formato MPEG2-TS:
1920 × 1080
Formato MPEG2-PS:
720 × 576
Risoluzione minima
320 × 240
(Solo formato PNG)
640 × 480 (tutti gli altri)

* Più alta è la risoluzione, maggiore è il tempo richiesto per visualizzare le immagini.

Per i dettagli, vedere le Istruzioni per l'uso incluse come file PDF sul CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player) allegato all'unità VSP-BZ10.

Rimozione di schede di memoria SDHC

1 Rimuovere la vite di fissaggio del coperchio dello slot con un cacciavite a croce.

2 Fare pressione nella scheda di memoria SDHC, e rimuovere la scheda.

3 Sostituire il coperchio dello slot e serrare la vite di fissaggio con un cacciavite a croce.

Nota

Prima di rimuovere una scheda di memoria SDHC, fare riferimento a “Precauzioni” a pagina 66.

Caratteristiche tecniche

Ingresso/Uscita

Rete 10BASE-T/100BASE-TX
(le velocità di connessione possono variare a seconda dell'ambiente di rete)

Slot per scheda di memoria
SDHC

USB Hi-Speed USB (USB 2.0)

Generale

Dimensioni 200 × 33 × 139 mm (L/A/P)
(eccetto sporgenze)

Massa Circa 800 g

Consumo di corrente
Circa 14 W

Corrente di spunto
(1) Corrente massima di spunto all'accensione iniziale (la tensione cambia a causa di commutazione manuale): 48,5 A di punta, 6,5 A r.m.s. (240 V CA)
(2) Corrente di spunto dopo un'interruzione di corrente di cinque secondi (la tensione cambia a causa di commutazione zero): 7,5 A di punta, 2,5 A r.m.s. (240 V CA)

Temperatura di esercizio
da 0 °C a 40 °C

Temperatura di immagazzinamento
da –20 °C a +55 °C

Indicatori LED
Link (verde)/Act (arancione)

Lunghezza cavo
Max. 100 m (Categoria 5)

Articoli forniti
Manuale all'installazione (questo documento)
Guida di avvio rapido
Elenco supporti
Asola di fissaggio della fascetta fermacavo
Supporto per collocazione verticale
CD-ROM (Software & Manuals for Digital Signage Player)
Adattatore CA

Codice alimentatore raccomandato

Solo USA e CANADA
N° parte 1-757-562-1X
Solo Europa N° parte 1-575-131-8X
Solo Oceania N° parte 1-555-074-5X

Aspetto e specifiche tecniche soggetti a cambiamenti senza preavviso.

Note
- Effettuare sempre una prova per verificare che la registrazione sia stata eseguita con successo.
SONY NON SI RITIENE RESPONSABILE PER EVENTUALI RISARCIMENTI DI QUALSIASI NATURA, INCLUSI, SENZA LIMITAZIONE, GLI INDENNIZZI O I RIMBORSI A SEGUITO DELLA MANCATA REGISTRAZIONE DI CONTENUTI DI QUALSIASI GENERE DA PARTE DI QUESTO APPARECCHIO O DEL RELATIVO SUPPORTO DI REGISTRAZIONE, DEI SISTEMI DI MEMORIZZAZIONE ESTERNI O DI QUALSIASI ALTRO SUPPORTO O SISTEMA DI MEMORIZZAZIONE.
- Verificare sempre che l'apparecchio funzioni correttamente prima dell'uso.
SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Setup Memo

Serial No. (SER.No)	

IP Address 1	
IP Address 2	

この説明書は、再生紙を使用しています。
Printed on recycled paper.

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.net/

Printed in Japan